

令和6年度後期「子ども・若者の提案」に寄せられた意見

※明らかな誤字などを除き、寄せられた意見を掲載しています。

行ってみたくなる環境イベントのアイデア大募集！

テーマ あなたが行ってみたいと思う環境イベントを企画してください。（1,300件）

提案内容
私は「大人も子供も両方楽しめる体験型イベント」の提案をします。具体的には、「今すぐ私達でもできる環境対策」や「災害が発生する前に知っておきたい知識」等を簡単なクイズ形式で出題し、正解数に応じてプレゼントや景品がもらえるというもの。自主的に調べないと案外わからないことをまとめてクイズにすることで、より多くの人が環境問題へ興味を持ったり、防災へ少しでもつながるのではないかと考えたため。
発電のしくみを学べる体験型教室を開く。簡易的に水力発電や火力発電のしくみを作り豆電球等を光らせる。原子力発電など再現の難しいものはビデオゲームとして遊んでもらう。
花や木をうる植樹イベント等をするのがよいと思います。なぜなら植樹等は自分自身の体験となるので、意欲的に参加でき、同時に花や木等についての知識を教えることで環境についての興味を持つようになるからです。
川・海におちているガラスや、プラスチックの破片などで、絵など美術作品を作るワークショップを開き、子連れの人も参加しやすいようにする。
リサイクル可能なゴミで作られた屋台で夏祭り子どもたちを楽しんでもらいながら、リサイクルゴミの分別を呼びかけることは次の世代につないでいく上で重要だと思った。
再生可能エネルギーのうち風力発電における点で、実際に発電することができる風車を作ろうというイベント。風車というものはさいたま市などのビルが多く存在する街にはないものなので、それを身近に体験できると思ったから。
1つのテーマに括るのではなく、森林伐採、気候変動、排気ガス問題など、様々な環境問題についてブースをつくる。子どもが楽しめるようにブロックを使用したパズルや、短い解説動画を用意する。また、大人でも満足できるようにやや難しいクイズや映像も用意する。間伐の際に切れ不要になった木材や、腐ってしまって商品加工の難しい木材を使った小物などを販売する。
農業に親しむため、いろいろな農作物の飲食物や、実際の農家の人の売る商品ブースをつくる。タネでも売れば、子供は育てられる。土の色や、葉の形などのクイズやゲームそして子供に楽しくしてもらう農業に興味をもつ子供が出てくるかもしれないから。
無料で何かもらえるイベント。環境にあまり関心がないので、貴重な休日をイベントへの参加に取られてしまうのは悲しく感じるため、その悲しみ以上の幸福感が欲しいと思うから。
環境クイズ大会を実施する。そして勝者には景品をくばる。楽しいし、どの世代でも環境について学べるから。
夏は東京からアクセスしやすい駅の周辺で埼玉県の特産品を使った料理を提供するマーケットなどを開く。また、老若男女楽しめるお祭りを開催して魅力的なイベントを開く。冬は他の都道府県にも劣らないきれいなイルミネーションを行う。クリスマスマーケットを行う。また、全体的に環境が豊かなのを使って自然の中でのアスレチックや自然とふれ合える場を作る。
若者の間で人気なモデルや芸能人と一緒にできるイベント。イベント内容は話し合いではなく実際に何か作ったりするのがいいです。例えば木を植えたり、町の人々にとって憩いの場になるような場所を実際に協力してつくったりするイベントです。
体験型の施設→台風のときの各地の風の強さやどのくらい北海道で雪がつもるのか意外と自分が住んでいる所以外のことはよく分からないため面白いのではないかな。
エコクッキング教室 普段廃棄される食材を使って美味しい料理を作ろうの会を開催する。
環境についての資料館などをつくる またその資料館に有名人を呼ぶ 理由：聞くよりも見た方が分かりやすいから。有名人がくれば資料館にいく理由ができるから。
環境やエコのことを学ぶ講座を開き、その会場に若者に人気な芸能人などをゲストとして呼んだり、参加した記念としてなにか環境にやさしいものをプレゼントすれば良いと思う。また、プレゼントするものとしては子どもや若者が実際に日常生活でよく使うものをプレゼントすれば良いと思う。そのプレゼントするものをデコれる会場などを作ればもっとよいと思う。
屋内で科学館のように実物（模型）を置き、その横に詳しい解説を置く。私としては実際に見て解説を読むだけでも十分に面白いと思う。他には、有名キャラクターとコラボするのかもしれない。
（内容）埼玉県にある様々な環境センターなどに金塊を設置しボランティアに参加したり金を寄附した時にポイントを与え、そのポイントが一定に達したらその金塊をとるチャレンジに参加する権利を1回与える。（理由）全ての人が環境を守るなどのことに興味があるわけではないから環境を知ることに関心がある人、ない人に関わらず夢を与えられるから。
環境にやさしい素材でつくられたおもちゃやお菓子をおいたテーマパーク（企画展）
（内容）環境対策を積極的に行っている大学生をお呼びして3人～4人がグループとなって参加するワークショップを開催する。お話を聞いた後、自分が生活の中で意識していくことのできるアイデアをグループで1つずつ発表する。その中で1番意見の良かったグループに環境に配慮したグッズをプレゼントする。また、参加賞として木製のグッズをプレゼントする。（理由）実際に活動している大学生からのお話を聞くことで、自分が環境に配慮した生活を送ろうと実際に感じられると思ったから。

提案内容
実際に環境の変化を体験することができる施設をつくる。またクイズ形式の場所をつくり、大勢の人が楽しめるような施設もつくる。
我々人間は、3つの要素に敏感である。競争、名誉、賞品です。これらの要素を持つイベントは、学校が範囲の文化祭でも、町が範囲の祭りでも人気である。逆に言えば、我々はこれらの要素にしか敏感ではない。環境保護の講義にもボランティア活動にも我々が自ら積極的になりにくいことからこれは証明されている。つまり、環境保護というコンセプトのイベントで、我々市民が互いに競争し名誉あるいは賞品を目指して競争し、競争していると同時に環境保護への貢献が行われるようなことがあったら大成功ということなのである。（例 ペットボトルをきれいに洗って納品し、納品した数によって賞品がもらえるというイベントならば、皆市民はペットボトルを納品するという競争をしながら、プラごみの回収という環境への貢献ができるということ。賞品の代わりに1位に賞状とかでも個人的にはうれしい）
環境に関するゲームを行って、景品を配布する。ゲームで環境について学ぶことができるため、関心を持ちやすくなる。
環境学習をしたらスタンプがもらえるスタンプラリーを実施し、スタンプを集めたら環境にやさしいグッズをプレゼントする。
主語が自分である以上、当然、鉄道系のイベントに一番行きたくなる。そこで、鉄道というものがいかに環境にやさしいかを伝えるようなイベントを開いてくれると、自分も行きたくなる。実際、鉄道というより電車に関しては、当然電気で動くわけであり、電車から直接環境に悪いものは出ない。内容の理由としては、ただ単に面白そうだけでなく、鉄道以外においても、環境に優しくするためには何を使ってどうするかを身近な面でもそれ以外の面でも知る機会になると思ったから。
木の中に生息している生物から、水質調査を体験させる。理由：現代の子供たちは川遊びができないので川にたいして新しい見方を作ってもらいたいと思ったから。
さいたま市の農家や農園で体験やクイズをやってさいたま市の特産品を理解してもらうことができると思います。そして、お土産に農家さんの野菜をもらったり花をもらったりすることによってさいたまの農業や特産品に若い人が興味を持ち始めると思います。また、ビニールハウスなどの施設を見ることによってどのように栽培されて1年中どの時でも野菜等が食べられたり見たりすることができるのかを理解することができると思います。
市で環境フェスを開く。＃をつけてSNSにアップするとグッズがもらえたりポイントが集まったりする。ポイントはフェス内での買い物につかえる。理由：大人だけでなく若い世代にも楽しんでほしいし、SNSにアップされることでより多くの人にフェスや環境のことについて興味を持ってもらえるから。
木材を加工するなどの体験型イベントを開催する。理由：体験型にすれば遊び感覚で来てもらえるし、仕事について興味を持つ子供などにもわかりやすいため。
環境キャンペーンを開く。1週間や1か月などの期間を設け、レジ袋をもらわない、コンビニなどでスプーンを断るなど、日々実践できる環境を守る行動にポイントをつけて、上位者に景品をあげる。景品のためだとしても、環境を守る行動をやってみて意外と簡単に自分でもできることが分かれば、キャンペーンが終わっても続けてくれる人が増えるかもしれない。
イベントの色々な場所に環境クイズを設置し、参加者が持っているクロスワードに回答を記入。全てを埋めてキーワードを並べ、正解していたら環境にやさしいグッズをプレゼントする。クロスワードで自分の環境に対する知識を確認できるし、ゲーム感覚で楽しめると思ったから。
実際に環境問題についてどのようにさいたま市が活動しているのかをクイズ形式にしたり、体験会などを行い、いろいろな人々が知らないような環境問題への簡単なことを教える。
【内容】さいたま市環境博覧会を開く。環境にやさしい発電方法や環境問題を模型、図などで展示する。また3分程度の環境啓発アニメを作成して上映する。【理由】文だけで伝えるよりも映像や模型があった方がイメージが付きやすく大人も子どもも楽しく学べると思ったから。
地域の住民にポイントカードを配り、決められた曜日、時間、場所を守ってごみ捨てをした人に、一日一つスタンプを押す。このスタンプを30個以上集めた人にエコバックを配るというイベントを開催する。子供でも楽しく参加できるから
ショッピングモール内に環境に対してのクイズ（3～4人のグループを作り1人が自転車で発電している間のみ回答が可能 1つ答えるたびにスタンプラリーのスタンプとコインが渡される）をいくつか設置して、すべて答えられたらエコバックなどをプレゼントする。集めたコインで小型自動販売機を回して出てきたカプセルトイを景品とする
幼い子どもからお年寄りの方々まで参加でき、年代別で4人くらいのチームを組んでさまざまなクイズに挑戦する企画。大人が子供へ教えることで子供に良い影響を与えコミュニケーション能力の増加へもつながる。
（内容）みんなで川などのごみひろいをする。（理由）・アメリカでやって楽しかったから ・どんな人でもできるから
すべて環境にやさしい（例：農業をつかっていない）野菜などを使って店をだす。食器も環境に優しい紙や木で作られたもので。
さいたま市環境クイズ大会 2～4人で参加をして、1人が回答者としてクイズに参加します。制限時間は45秒、優勝したチームには豪華景品をプレゼント。【理由】クイズをすることにより、参加した人たちが楽しく学べることができると思ったから。クイズだったら年齢関係無く楽しくできると思ったから。
環境問題に関してわかりやすく学べる講演をひらく。問題に対する知識や知ろうとする意識があまりない人が多いと思うので、小さい子供でも分かるような説明をする。

提案内容
数分でできる環境クイズをして当たったら景品をもらえるイベント 数分でできるならついでに行こうかなと思えるから。
みんなでゴミ拾いをして、そのゴミでアート作品を作る 各個人がグループでその拾ったゴミで作品を作らせ、良かった人に景品→何個か景品を用意して、一番の人から選ばせる 景品を幅広くすることで、いろいろな人に興味をもってもらえるようにする ゲーム感覚で楽しくできるようにするとみんな楽しくできると思ったから
（内容）みんなで町や市のごみ拾いをする。チームを作って取ってきた量に応じて報酬をあたえる。（理由）報酬があればみんなやりそうだから。
みんなできれいな町づくりをするために、ゴミ拾いなど町をきれいにする行事を行う。集めたゴミの量に応じて景品などを用意する。集めた量が少なくても参加賞をあげる。
環境問題について考えてもらうために環境にやさしいものを買ったりすると簡単な問題を出され、答えられたらポイントがたまる制度。いくつかたまるとなんかの景品をもらえることができるようにする。
保護犬、保護猫等行くあてのないイヌネコたちとふれあえるイベント。里親になるのも良い。このようなイベントをかいさいすることによってペットが欲しかった人や、保護犬保護猫に興味のある人が参加し、殺処分されてしまう動物を減らしたり、この問題を身近に感じてもらえるとなお良し。
使い終わったペットボトルを使って輪投げや玉入れを個人戦でやって1位～30位の人にプレゼントをする 参加賞としてペットボトル10本やプリンターのインクなどリサイクルできるものを渡してもらう 景品があればみんな遊んでくれるし、リサイクルを意識させたりペットボトルで遊べることを知ってもらうため
アイデア：ゴミを分別しながら競争 2人以上で1グループとする。走るコースにはペットボトルや缶などのさまざまなゴミが1つ5ヵ所ほどに置いてあり、1ヵ所ずつ正しい分別をしていくという競争。タイムを測り、上位者から順に環境にやさしいグッズをプレゼントする。（間違えた場合は最初から走りなおさなければいけない） 理由：ただ分別について学ぶのは少し難しいと考えたので、運動しながらや友達、家族と協力するなどの楽しい経験と結びつけることで覚えやすくなるだろうと思ったから。
SDGsの項目についてそれぞれ簡単にわかりやすく説明してくれるブース 男女平等などはよく知られていると思うが、貧困や水についてはあまり学校でも教えてくれないので全ての項目について教えてほしい。エコバッグなんかを配布すると日常的にもつかえるしSDGsに貢献できていいと思いました。
環境をよくすることについてのアニメをつくり、見てもらう。アニメなら子供も見やすく楽しめると思ったから。
環境の事に関するテストを行い、全問正解の人にリサイクルをしたものでできた景品をプレゼント
内容…ペットボトルキャップレース！！ このイベントは事前に作っておいた「プラスチックカート」を使ってレースをするというものです。カートは坂を使って走らせませす。優勝者には、市の力で清涼飲料水50本、お願いします。参加賞は環境についてのパンフレット。 理由…景品で子どもや、清涼飲料水が好きな人の興味を引けるから。「ペットボトル」を使うので、家庭でも作りやすく、参加しやすい。
ゴミ拾い対決 ある地域でボイ捨てされてる物をみんなで拾い、ゴミ袋が一番たくさんうまった人には環境に優しいグッズがプレゼントされる。（理由）どんな年代の人でもできる分かりやすくして簡単なのに、環境について（ボイ捨ての多さなど）考えられる機会につながるから。
環境について学べる施設をめぐるスタンプラリー スタンプを埋め終わった人には学んだことに関連するグッズをプレゼントする。 例：再生紙を使ってつくる組み立て式の飛行機 理由 学んだことを触れて覚えてほしいから。
遊園地などを使い、そこでスタンプラリーをする。すべてのスタンプを集めた人には景品をあげる。 理由：子供が遊園地などで遊びながら環境について楽しく学べる。親に遊園地などに行く理由が作れて行きやすくなる。景品をあげたら喜んでくれる。
イベント：お題形式で箱の中から紙を取り、そのお題から連想ゲームをして10個以上つなげ、さらに最後環境問題に結びつけた人にお菓子をプレゼント。理由：景品があるとやる気が出るし、連想ゲームは楽しめると思ったから。
・祭りを開催する←屋台や環境に関するゲームをやることで環境グッズがもらえ、スタンプラリーに挑戦できるようにする。→人が集まる ・環境に関する体験できるところをつくり、スタンプラリーで景品をもらえるようにする。
・環境問題がどのように起こるのか、またその解決策を分かりやすくした講義をする。その上でどのように解決することができるか、来た人にも考えてもらい、意見を出してもらったり人同士でディスカッションして考えを深めるなどする。面白そうだから。・環境問題についてのアニメーションを作り、多くの人に見てもらう。アニメーションにすることで多くの人に見てもらいやすくなり、環境問題を知るきっかけになるから。
それぞれ3～4人のグループをつくり、ゴミ拾いをし、あつめたゴミの数を競いあう それに応じて景品をあげる。人と人が交流できるし、まちもきれいになるから。
時間帯を決めて、ルート、区域も決めて燃えるゴミと燃えないゴミを分別しながらゴミ拾い 集めた分にあたる量を景品としてお菓子、飲み物を配る 理由は、みんな歩くから健康にもなるし、分別できるし達成感がある！
体験できるイベント 実際に体験したら実感がわくから

提案内容
草むしりやゴミ拾いを行い、拾った重さの分だけ景品がもらえる。参加した人には、お昼のお弁当をサービスする。→景品を求めて、できるだけ多くのゴミを拾おうと思ってくれるから。
食品ロス削減を広めるためのイベントを開催する！＜内容＞・子どもにも理解できるような説明をする。・実際に、スーパーなどで余った食品をイベントに来てくれた人に配る　＜理由＞・私たちにとって食品ロスは身近な問題だと分かってもらう。・食品ロス削減につながる。
市内の小中学校で環境改善への取り組みの体験を取り入れた講演を行い、子どもたちに環境を保護することの大切さを伝える。
・ゴミ拾いをして、拾ったゴミの分だけ賞金がもらえるような企画　賞金などがあれば取り組む人が増えると思う。・ゴミの分別などを啓発するポスターを削減する機会をつくる。ただ紙のポスターにするのではなく、工作などをしてみんなで楽しく作成すれば思い出にも残るし、より意識して生活をするようになると思ったから。
ごみ拾いのイベントが良いと思う。特に人口の多いところでは結構な頻度で開催すればさいたま市全体がきれいになると思う。色々な世代が参加しやすいように、開催時間を調整すると沢山の参加者が得られる。地域の結束も生まれ、きれいになり、一石二鳥。
参加する人が増えれば、そこで興味をもってくれる人もいると思うから。記念品ではなく、実用性のある景品（シャープペン、消しゴム、クリアファイルなど）にすればいいと思います。
イベントに参加した人達を地域ごとに分けて、地域対抗で環境に対するミッションに挑戦する。一番ミッションをクリアできた地域にはプレゼント。
家庭の水がどのように浄水されて川に流れ着くのかを説明するイベントを行うのが良いと思う。どのように浄水するのかを理解した後に少し汚い水と石、砂、砂利などを用意して参加者にどうすれば一番キレイに浄水できるか競い合う。
身近であるゴミがゴミ収集所に集まり、どのように処分されるのかを見せて、その後クイズをやり、参加してくれた人にお菓子をあげる。
子供向けに太陽光や手回し発電機などを体験することができるエリアをつくる。環境に優しい素材で工作をして何かをつくる
子供向けの環境実験体験エリアをつくったり、環境クイズに正解出来たら賞品がもらえる。かわいいマスコットキャラクターをつくる。環境にいい食材だけをつかった飲食店をだす。環境に関する〇×ゲームなどをつくる。
ゴミひろいイベント！　拾ったゴミが多い順に景品が豪華になります！
内容：人気漫画のキャラクターをモチーフにして、植物を植林しよう！！　参加特典でキャラクターのグッズ3万円分プレゼント！！　理由：私なら絶対参加するから
子どもたちでも楽しく体験できるブースを作ればよいと思う。例えば、このまま地球温暖化が進めばどうなるのかを身近なものやことに例えて説明する。気温はどうなるのか、食生活はどうなるのか、生態系はどうなるのかなどです。
電気を使わずに人手だけでさいたま市で行っているイベントをやる。
環境が悪化するとどうなるかを体で体験できるイベント　数年後の温度を体験、数年後の縮小された日本の面積を体験
ゴミ拾いをして、それが終わったら実用性のあるものをプレゼントする。
SDGsについてのイベント。SDGsについてくわしくまとめていて夏休みなどの休み期間には入場者プレゼントを設けるなどすれば絶対に入場者は増えると思う。（自由課外活動の課題などで）。だがSDGsに関わるマスコットのキーホルダーはあまりひかれないと思うので実用性のあるふせんなどでいいと思う。
一県庁改築イベント。～グリーンカーテンの巻～　県庁の改築をして工事の体験（かべの色ぬり）などをやってもらい、今、人手不足である建築業になりたい人を増やす。また、グリーンカーテンをつける（子供が）イベントもかいさいして、自宅でも率先してつけられるようにする。すると…→エアコンを使う住宅が減り、地球温暖化解決！！　私の意見の採用よろしく願います
イベントは、けやき広場にして集客を見込む。けやきの木の植林を行い光合成を行うことによりCO2を減らす。さらに環境に対する意識を高めるため、車のディーラーと協力し、EVなどの展示を行いEVのよさを伝えればいいと思います。EVやハイブリット車をけやき広場に入れるためにスーパーアリーナのほうにあるゆるやかな階段の部分のスロープ化して乗り入れさせる。
子供たちにも楽しく知ることができるような体験型のブースを作ればよいと思う。例えば、子供たちにクイズを出して参加した景品のキーホルダーをあげたりする。子供はとにかくクイズが好きだから、行ってみたいと思える。
スタンプラリーをする　環境に関する場所にスタンプを置きスタンプラリーをコンプリートしたら記念品をプレゼント

提案内容
環境に悪い例と良い例その対策などを知ってもらうためにクイズを用意して合計点数が高かった人に何か賞品をあげる。そして小学生などにはわかりやすい絵が多めの動画などをいくつか見てもらい最後にお菓子などおもちゃをプレゼントする企画 小さい子供から大人まで全員に気軽に参加して環境について知ってもらうため。
3、4人のグループをいくつかあつめて、それぞれに発電機を渡す。いくつか発電の手助けにもなるようなものもわたして、制限時間以内に、より多くの電気を発電できたチームに景品をわたす。普段どれくらいの電気をつかっているのかが分かりやすくなるのではないかなと思った。イベントの最後へんではグループが使った電気と一人が1日に使う電気をくらべてみてもいいなと思う。
エコバックを使うとスタンプが貯まるというくみのスタンプラリーを作り、一定の量のスタンプが貯まると環境にやさしいグッズをもらえるようにする。
環境を守る仕事をされている職場の見学や体験ができれば楽しいと思います。環境保護についてなんとなくわかってはいても、どうしても自分に関係ないと思ってしまっているの、実際の仕事を通じて身近に感じたら、みんなにも感心が湧くのではないかなと思ったから。
内容 ゴミ分別ビンゴ 燃えるゴミやプラスチックなどを分別できたら穴をあけてビンゴを目指す 理由 ゲーム感覚でやればゴミの分別を覚えやすいと思ったから
スタンプラリーをして、コンプリートしたらおかしがもらえる。何か景品があると、行きたくなるから。
現在問題となっている環境問題はどんなものなのかをわかりやすいように再現して、その問題に対する私たちができる解決策を実際にやって、体験できるようにしたら良いと思います。そうしたら、実際にそのような問題に直面したときに「イベントでやった事だ」と思い出して実施できる事もあると思うからです。
みんなでゴミを拾うイベント→地球をきれいにするため
川の周辺のごみ拾い。川の周辺はごみが多いので、ごみ拾いをすれば、川もきれいにみえると思ったから。
リサイクルを何回かすると商品券などがもらえる。何か良いことがあると人はリサイクルをしようという気分になるから。
植林等の緑化
(内容)市内の名所や要所などにスタンプ台を設置する。スタンプ8個集めたら、リサイクルされたものと交換する。ただし、スタンプをゲットするには、3Rなどの環境に関する簡単なクイズに正解しなければならない。(理由)スタンプラリーなら子供たちでも簡単にできるし、クイズも行うことで、環境について簡単に理解できると思ったから。
地域の方たちと地域の公園などに植林するイベントを開く。そうすることで、「環境」を身近に感じることができて関心が高まると思ったから。
使わなくなった服を一つのところに集めてその素材を再利用して、寄付してくれた人に希望の服を作って再び渡す企画。理由：自分にも得になると思ったから。
子どもなどが好きな乗り物などを置き、それを目当てで来た親子などに、環境イベントの存在を知らせる。
自分は特撮ヒーローが好きなので、特撮ヒーローとコラボした環境イベントが良いと思う。現在、川口市でも特撮ヒーローの環境イベントが行われていて、子どもから大人まで幅広い年齢層の人々が来場している。これをさいたま市で行えば、多くの年代の人が来場し、環境に対しての意識を多くの人に向けさせることができる。さらに、イベント限定の物販などを行えば、遠くからでもファンが来場し、さいたま市自体のアピールにもつながる。そのため自分は、幅広い年齢層を対象とした、特撮ヒーローの環境イベントを提案します。
環境によいとされている生活を再現したブースなどで、実際どのような暮らしなのかを体験できるイベント。体験できるので、実際にやってみてこれだったら実践できそうだなと選択の幅が広がるから。
参加賞として、現金を配る。お金につられて、イベントに来る人が増えるから。
ごみ拾い。求められた区域のごみを拾う。小学校のときにやって休日に友達と会えるのが楽しかったから。
お祭り感覚で楽しめるイベント→「環境イベント」という名目で行うのは、若者や環境のことについて、興味がない人たちは行かないだろうから、お祭り感覚で楽しめるものであれば、多くの人に興味を持ってもらえると思う。
このイベントでは、皆さんに楽しく環境を学んでもらうことで、地域の環境問題だけでなく、全国にも共通して言える問題を防ぐことを促進させるためである。具体的にそのイベントでは、全国で起きている環境問題のいくつかをピックアップし、それを対処するにはどうすればよいか？また工作やプログラミングで、それがうまくいくかなどをして、楽しんで環境について学べるゲームとなっている。
「内容」さいたま市環境テーマパークを開催する。4～5人が参加し、1人が回答者として、環境クイズに挑戦。残りの人は手回し発電機で発電し、電球が光っている間は30秒。クリアすると、環境にやさしいエコバックプレゼント。「理由」ゲーム感覚で環境について学ぶことができ、環境に興味をもつようになると思ったから。

提案内容
廃棄になる食品を捨てる前に安全性を確認した上で、安く売るイベントがいいと思う。捨てるものや、リサイクルするものなどを使って、新しい生活に役立つ物などを作るワークショップを作る。
富士山でのゴミ拾い対決。普段はみんなでゴミ拾いをする機会はなかなかないので、みんなでやれば楽しいし、富士山もきれいになるから。
私は白化したサンゴ礁を植えるイベントに行ってみたいです。理由としては、私は海が好きで12の時に、ダイビング免許も取ったので、色々な人に海の魅力を知ってもらいたいからです。白化したサンゴ礁を抜き新しいサンゴ礁の種(なえ)を植えることで元のキラびやかなサンゴ礁に戻し海の生態系を守りたいです。
植林 （理由）元々植物に興味がある人や環境を良くしたいと思う人が来やすいから。
再生可能エネルギーでの発電がどのように行われているのかの見学。環境に良いと言われるけれど、実際どうやってやっているのかを知った方が自分たちの家に取り入れるか入れないかなどの判断もしやすいし、新しい再生可能エネルギーを考えるきっかけにもつながると思うから。
スマホでバーチャルで参加できるようにして、手軽に環境イベントに参加できるようにする。イベント会場に行くことができない人も楽しめる。
さいたま市のしている環境への取り組みや今の世界の環境破壊の状態を知れるイベントを定期的に開催する。そのイベントでいろんなブースを作って、そこでたまるポイントのようなものを作る。そのポイントはアプリでたまるようにして、さいたま市内のいろいろな店で使えるようにする。定期的に開催することで、最新の取り組みを伝えられ、ポイントも増える。
・子供も楽しめるように参加賞を作る ・話を聞くだけじゃなくなるべく体験できるようなイベントにする 理由：つまらないイベントだとあまり人があつまらず、イベントにならないし、人があつまっても頭に入らないし、そこから環境問題などに興味をもてないと思うから。
疑似的な森林の部屋（ミュージアム）を作り、中にはカブトムシなどの昆虫や小動物とふれあうことができるようにする。太陽光発電や地熱発電などの色々な発電のしくみを動画や小細工にして展示する。環境に関する物の小さいグッズ、ストラップなどをプレゼントする。
地域の中学校や高校などと協働して、環境保護について生徒が学校で調べたり学んだりしたことを活かせるポスターセッションなどがあれば面白いと思う。学校での学びを活かすことのできる場があることは、生徒の学習意欲の向上につながり、環境について興味を持つきっかけにもなると思う。実際、普段の学校生活で学習内容をそのまま活かせる場というのは定期テストのみと言っていいほど少ないので、こういった場ができることはたいへん望ましいと思う。
・町を探検して、環境に配慮した取り組みを探し、何個見つけたかで景品を送る。・リサイクルセンターをスタンプラリー形式で見学する。→ゲーム感覚で身近で行われている環境に配慮した取り組みを知ることができる。・リサイクルできるもの（カン、ペットボトルなど）を使っておもちゃをつくり、みんなで遊ぶ→小さい子でも楽しめる！
・めずらしいお花を一輪ずつ売る→普通のお花より興味を持つ人が多い・自分でハーバリウムを作る体験→作るのはいろんな人が興味を持つ・花束を作る体験→お花屋さんになりたい人が多いから・フォトスポットを作る→写真を撮りたくてくる人が増える
子どもから大人まで楽しめるような体験コースがあればいいと思う。例えば子供だったら小型の風力発電機にうちわを子供に扇いでもらって発電出来るのを身を持って体験してもらったり、親子連れで上記のことを一緒に協力してどのくらい発電できたのかを他の参加者と競いあったりして楽しんでもらえばいいと思う。理由としては楽しめるかつ身を持って理解してもらうことで、環境に対して目を向けてもらいたい機会になると思ったから。
1年に1回、学校で環境についてのポスターを作る。その中で一番良いポスターを決める。良いポスターを作った人にはタオルをあげる。
・誰か有名人（推し）とコラボしていたら行きます。「環境」というテーマだけでは多分私含め行ってみたいと思う人はなかなかいない気がするの で。・得られるもの（物理）が多かったりよかったりしたら行きます。・開催場所が若者と馴染みがあって行きやすいとか。区役所とかでやられるよりは駅近のほうが行く気が上がります。
地区ごとに環境展覧会を1年に何度か開催する。住民が環境に良いことをした時、写真に撮ったり文章で表したりして提出する。小さい子が発見したことなども提出されたりして、新しい気付きや柔軟な発想に癒されたい。賞などもつくり、入賞した人の作品を印刷して地域で配る。
・環境にやさしいLEDなどを用意してイルミネーション・ペットボトルや牛乳パックなど、リサイクルできるものを持ちよって子どもが使える遊び道具をつくる・環境にやさしい製品を考えるイベント→紙などに案を書いて提出・ペットボトルのキャップやその他ゴミなどを使って1つの大きな絵などの作品を参加者全員でつくり、シンボルにする。
・ペットボトルでみんなで1つの絵をつくる→よくポイ捨てされがちなペットボトルのキャップ。でもそのまま捨てるのはなにかもったいない気が出ませんか？カラフルで1つ1つかわいいし、それぞれの個性があります。そこでキャップを使って1つの作品を作るのはどうでしょう。ペットボトルのキャップをみんなで並べてつくります。同時にいろんな世代の交流会にもなって市の雰囲気も温かくなるのではないのでしょうか。一体感がうまれてとても楽しくて有意義な時間になると思います。
・簡単なクイズを数か所会場において、スタンプラリーのようにします。そして景品は環境イベントのキーホルダーなどはもらってもあまりうれしくないで、お菓子の詰め合わせなどにすればいいと思います。私には3才と5才の弟がいるのですが2人ともお菓子がもらえるイベントには必ず参加するので小さい子供向けのイベントにするなら景品をお菓子にすればいいと思うからです。・私が行ってみたいと思うのは体験できるイベントだと思います。
【内容】ごみ（ペットボトル、発泡スチロールなど）で巨大なアートをつくる それをかざり、見に来た人たちも一部参加できるようにする 【理由】ごみをあえて見える形にして、人々にごみを減らそうという意識をつけるため
・環境に優しい素材を使ったワークショップ 環境に優しい素材を使うことで、その素材を使用した人はその素材が環境に優しいと分かり、これからの生活でどの素材が環境に優しいかを気にしながら生活をしていくようになるきっかけになるかもしれない。・環境についてのアニメなどの上映会 子ども達が楽しみながら環境についての勉強ができる。

提案内容
（内容）ペットボトルや牛乳パックなどのリサイクルできるごみや廃材で作ったアート展覧会！さいたま市の子どもたちや、さいたま市にゆかりのある有名人などがごみや廃材で作品を作り、展覧会を開催する。会場では実際に作品を作ることができるワークショップも行う。さらに、作製された作品の中からさいたま市長賞などの賞を選び、選ばれた作品は市役所や駅で展示、また作品をオークションなどで買えるようにすることで、ごみや廃材のアートに価値をつけていく。（理由）身近なものでも作品を作れる楽しさと環境にやさしくなれる一石二鳥だと思ったから。
リサイクルされたり、使わなくなった物だけをつかってライブイベントをする。理由は前にアフリカへの寄付を目的としてチャリティライブを行っていたので、その環境イベント版として寄付などをつのると面白いと思ったからです。もちろん、そのライブでゴミを出すのは本末転倒なので照明などの電力は全て再生可能エネルギーによるものでプラスチック製品もあまり使わずにライブを開く。
①体験型のイベントを開催する。事前に内容などが書かれたチラシを配布してイベントの開催を告知しておく。②リサイクルして製作したものを配る。リサイクル事業の周知にもつながる。
・自然の中で1日キャンプ 森の中にツリーハウスをつくったり、川で魚つりをしたり、自然に囲まれないとできないようなこと（火おこし、苗づくりetc. 体験など）を実施し、1日を通して自然の大切さを学ぶ。子どもも大人も楽しめるから親子で参加制にするのも有り。→親子の仲も深まる。 ・無料で10歳未満の子どもが博物館に入れるイベント期間を設ける。→新しいことに興味をもてる。
内容：SDGsについてもっと身近に触れてもらうために、実際にペットボトルなどをリサイクルする現場を見せ、その後テストを解いてもらって正解した人には景品を渡してあげる。理由：実際にリサイクルしている現場を見たら、子どももリサイクルをしている意味が分かると思うし、イベントが終わった後もSDGsの内容を実行してくれると思ったから。
アニメのキャラクターやインフルエンサー等に環境問題について解説してもらう。〔理由〕著名な人物に解説してもらうことは話題性があるのでSNSの拡散が早く、10代、20代を中心とした若者の目にも止まりやすいから。
住んでいた森などを追われた動物達を集め、人間と闘わせるイベント。これを行うことにより、増えすぎた人間を減らせ、さらにこのイベントを闘技場の賭けのように運営すれば、人間が減らしてしまった自然を回復させる資金源となりえる。以上の理由により、このイベントはする価値があると思いました。自然と人の管理を毎日欠かさずにやっていきましょう。
私は、ペットボトルを再利用して作られたTシャツに、自分の好きな柄や絵を入れられるようなイベントがあれば楽しそうだと思います。参加料を取ってもいいのですが、そこはあえて「ペットボトル〇本持ってきたら参加可能」のように、リサイクルできるものを参加する条件に組み込めば、より効率よくペットボトルの回収等をおこなえると思います。それに、オリジナルTシャツがペットボトルから作られているとなると、少なくとも「リサイクル」について関心を持つ人も出てくると思います。これからも「リサイクル」は大切になってくと思うので、リサイクルの関心をもたせる。一定数の人には魅力を感じる企画としてはピッタリなのではないでしょうか。
・埼玉県にサーキット場をつくり、そこでe-フォーミュラの大会やレースカーの自動運転プログラムのイベントを開催する。そうすれば、電気自動車に興味を持ってくれると思うから。 ・車の会社と共同で水素自動車に関するイベントをやる。 ・木を植えるイベント ・外来種の魚の試食イベント ・県のお金で埼玉県民がゴミをリサイクルしたらいくらもらえるようにする。
・植物を育てる、植えるイベントをかいさいする。理由：いろんな植物を植えることで人々が環境に興味を持つ。 ・環境にはいいよしたグッズを売るショップをつくる。理由：環境を守るために必要なことが分かる。 ・スタンプラリーで子供の興味を引く。 ・環境について現状を発表する（スライドやパワポ） ・ポスターなどで呼びかけ。
環境イベントとはどのようなものかは知りませんが名前からして継続的に参加しようとは思えないなと思いました。もう少し身近で気軽に行けそうな名前にするべきです。またこのようなイベントを開く前に環境問題への意識を向上させるための宣伝、教育を見直すべきと考えます。
行きたいと思うためには… ・スタンプラリー等（対象年齢低めなら…） ・クイズ+グッズ（対象年齢中学生以上なら） →クイズ…環境クイズ 正解でグッズ、不正解で参加賞 クイズは少し難しめ、その分グッズをもう少し豪華にして多くの人が欲しがるものに。参加賞は環境に良いノートとか… 立地も考える…人目につきやすい場所、アクセスしやすい場所→駅前、大きな公園等 開催時期…週末、天気が良さげな日にすればいいと思う
環境イベントで一番環境に貢献した人に賞金を上げる。そうすれば多くの人数が集まり皆必至になってやるため、一気にゴミなどを削減できるから。
地球環境をテーマにしたカードゲームを活用する 理由 環境問題に興味関心の無い人に来てもらうためには、環境×何かおもしろそうなもののかけ合わせでないとだめ カードで遊ぶ過程で少しでも環境に興味を持ってくれば良い カードにはまれば環境の方にも絶対興味は湧くはず
実際に川や海に行って生物を見る 実際にやったことは印象に残りやすいし、生物を実際に見にいけるから参加者が増えるかもしれないから。
なにか一つの環境問題の解決案を用意して プレゼンで各グループごと（1人～5人くらい？）で発表。より納得できるプレゼンをした人に審査員が投票し、より多くの票を獲得した方が勝ちとする。1～3位までは環境問題にちなんだグッズをプレゼントする。それ以外は参加賞。理由：プレゼンする人は学校などで募集すればあつまりやすいし、聞きにくる人も、とくににもするわけでもないのでもやりやすいと思ったから。
子どもが出来るような大きな迷路をつくり、ところどころに〇×のクイズをつくり〇の方に進んでいくと正解のゴールまで行ゴールできた人は環境に配慮したグッズをあげる 理由…迷路などにした方が楽しく学べるから。
さいたま市で、町内のゴミ拾いをし、集めたゴミの量に応じて市民のもういらなくなったものを欲しい人にあげたり、リサイクル品をプレゼントするというイベントを開催する。参加者はゴミをちゃんと集めようとするし、景品があれば参加者が増え、資源が無駄にならなくなる。環境保善につながり、市民の意識が高まる。
エコな作られかたをした野菜と肉を作った料理をタダで提供されるイベント
裁縫が好きな中高生を集めてエコバッグを作る。普段スーパーで買い物に行く時にビニール袋を買う家族を見るので、そのような家族の中高生を集めて、エコバッグを作れば3円や5円など細かいお金を払う必要なく、個人の個性を出せるバッグで買い物をすることができる。そのため、「お金の節約」「自分が好きなバッグで買い物ができる」「環境に優しい」などのメリットがある。
すべての施設を体験することができるようにして、チームごとに対決させる。体験してくる人のやる気をだすために、順位をつけたりする。体験することによって、興味をもってくれる人がふえると思う。

提案内容
環境に良いエコな物を使って工作したり、実際に体験できるイベントをやることで子供も楽しめて、幅広い人に環境問題について知ってもらえる。
環境イベントをレクチャーのようにするのではなく、劇のようにすれば小さい子どもも集まって関心を示してくれると思います。
テーマ：体験型の学習テーマパーク 市内の環境への取り組みを紹介し、その取り組みの中から選んでボランティア参加までをコーディネートするイベント。（来場者のみとし、意欲のある者を選バツ）中学、高校生は残念ながら環境に対する意識は低く、ゼロと言ってもよいだろう。そんな中、イベントに参加するかというとはほぼ不参加となる。しかし、昨今進学に際しボランティア活動に参加するというニーズは大きくなりつつあり、今興味がない、関心がない学生を参加させ、その問題を提起する機会となるのではないか。市内の学校との連携が必要となるが、参加者を募り、ポスターセッションなどを行い、参加生徒以外にも広げていけるのではないか。
＜イベントの内容＞廃棄品を使って色々な出店をする。＜その理由＞廃棄品を使えば食品ロスがなくなるし、お店も安く、料理を提供できるから買う人も多くなる。
自転車のペダルをひたすら回して制限時間内に最も多く発電できた人に環境関連のグッズをプレゼントする。理由：ゲームで呼びこんで環境のことも教えることができるから。
消費期限が近くてあまっている食べ物を使い大食いをする。食品ロスをへらすことができ、楽しそうだから。
環境に関するクイズを出し正解したらスタンプがもらえる 集めたスタンプの個数によって環境に配慮したプレゼントがもらえる プレゼントがあることでモチベーションがあがり、楽しく環境について学ぶことができるから。
町でゴミ拾いをして、拾った量に応じて順位を決めて上位数組が賞金や賞品がもらえるイベント ゴミ拾いをしつつ、いろんな世代が楽しめそうだから。
ゴミ拾い 町がきれいになるから
クイズとかをして、正解したら、グッズをあげたりするのがいいと思う。理由：いいグッズがあったら欲しくなるから。
環境活動のイベントを開催し、そこで60分働いたら2000円あげるというものを開催する。参加条件は働ける年齢になっている者。時給は高いが、こうでもしないと環境活動のイベントなんて興味もないので来ないと思う。
体験ブースをつくる。体験することによってもっと身近な問題だと理解してもらおう。
有名な環境活動家と話す会をつくる。環境問題を真剣にとらえるにはその道のプロと意見を交わすことが必要だと思うので環境活動家に日本にヨットで来てもらい、話すイベントを開いたらいいのではと思ったから。
環境にやさしいもので工作。プレゼント。興味深い環境にいい商品の紹介。（例えば、竹でできたストローなど）
いつもの通勤、通学でより環境に優しいものを利用してもらおうキャンペーンをする。内容としては、車を使わず、歩いたり公共交通を使ったりすると、ポイントがたまり、そのポイントで景品がもらえる！という内容。景品に埼玉県は無農薬作物などを渡すことで健康で環境にやさしい栽培する農家を応援でき、その魅力を伝えられると思った。
人力車体験 一番長く移動できた人に環境にやさしい景品をプレゼント。子どもは人力車に乗れて楽しい。
参加者の中でゲームをして優勝者に豪華景品をプレゼント
ゴミ問題を解決するイベント 利用している駅や住んでいる町をきれいにしたいから。
川の水をきれいにするイベント 地域にとってもきれいな川があり、その環境を守っていききたいから。
あえて真冬に流しそうめん（凍った雪、氷）
みんなで近くの山に行って登山する 直接自然と触れ合うことで自分自身の環境への配慮のしかたを見直すことができるし、楽しそうだと思って参加する人も増えると思うから。

提案内容
俳優さんのトークショー 俳優さんたちの登壇イベントは都内で開かれることが多いから埼玉県内でもイベントで俳優さんが来てほしい
・内容：地産地消～明日からあなたも環境ヒーロー～・さいたま市で育てられた新鮮な食材で作った料理を提供。野菜などの販売。・野菜やさいたま市での農業についてのクイズ→正解者には直売所で使える割引券 ・理由：環境問題と聞くと地球温暖化や砂漠化、海洋プラスチックなどとうてい1人では解決できない壮大な事柄をイメージしがちです。しかし、私たちが日ごろから食べている食材を遠い彼方の場所で生産されてなく、地元のものにかえるだけで、輸送時に排出されるCO2量を格段に減らせます。円安や気候変動で食材の高騰が続く現在、身近な土地で作られた食材で新鮮かつ環境に優しい料理について発信するのは色々な人の興味を呼ぶと思います。
駅前などに、大きめの町の模型を用意し、だれでもそれに干渉できるようになっている。そこで、自由に町をつくってよいとし、日ごとにその時の環境の良し悪しを数字などでわかりやすく表記。よりよい環境を目指していくという目標のもと、ミニ町を発展させようというイベント。あまりにもだれでも簡単に参加できてしまうというのが大事であると思っていて、このイベントでは一応なんらかの制限が必要であろうが、自由に共同で（連携はいいが）つくっていけるため、環境についてよく考えることができるきっかけにもなると思う。特に、子どもはターゲットとして良いと思う。
<内容>廃棄物がリサイクルされる様子を見学しよう！ 親子で参加し、廃棄物が実際にリサイクルされる過程を説明する。その過程の一部は参加者が実際に見学できるようにする。最後はリサイクル資源によってつくられたトートバッグを自由に仕上げてもらってプレゼント！ <理由>小さいころからリサイクルについて学ぶことでゴミの分別を習慣にできる 最後にプレゼントがあることで、小さい子の意欲アップ
<内容>市全体として「環境配慮ウィーク」を開催する！期間内限定で市の中のスーパーマーケットや飲食店、カフェなどで「環境配慮ウィーク対応食品・製品」を販売、提供する。「環境配慮ウィーク対応食品、製品」は環境にやさしい素材から作られた物。これらの商品を購入すると数に応じて「環境ポイント」が貯まっていき、ポイントが一定数たまると、環境にやさしいグッズと交換できる！「理由」グッズ目的で、「環境配慮ウィーク対応食品製品」を買ってもらえれば環境にやさしいから。
自転車をこいで発電するあれを来場者が実際にできるコーナーを作るといいと思う。なぜなら、見たことがあっても体験したことがある人は少ないと思ったから。さらに、現代では子供や大人の運動不足が深刻な問題になっていて、それを解消することにもつながるので、一石二鳥だと思ったから。
エコマーケット(仮)の開催！・広い会場で飲食店や農家の方々・いろいろなお店に出店を開いてもらう。・エコな商品(サービス)なほど「エコ割」で値引きされる(出費は市がする)(例)・「地産地消ラーメン」←さいたま市でとれた野菜をつかう・形が少し悪い作物・パンの耳でつくったお菓子・包装紙が紙でできている商品(花束とかのラッピング)
ワークショップ、市場と同時進行に行われる地域ボランティア 地域ボランティアの内容…ゴミ拾い・大きなマップにどこの何のゴミがどのくらい捨てられていたか記録・啓発ポスター作り。 地図を駅前などの人目につく場所に置き、啓発ポスターも色々な場所に貼れば多少はポイ捨てが減るかなと思ったから。ワークショップや市場は人が集まりやすいので、ボランティア参加で500円引き券のようなものを作ればボランティアに参加するキッカケになると思う。また、ポスターを塗り絵形式にすれば小さい子も楽しめると思ったから。
テーマ：ビーチのごみ拾い大会。ポイ捨てごみが問題となっているビーチで時間内にどれだけたくさんのビーチのごみを拾えるかを競う大会。→みんながごみ拾いというネガティブなイメージではなく、大会で競うものとして楽しくポジティブにビーチをきれいにできる！色々な所で開催していけばどんどんきれいになっていく！さらに出場した人や、開催地周辺ではあまりごみを捨てたくなくなると思う。
さいたま市いも堀り(枝豆や他の野菜も)大会！参加費1人700円くらいで、作物の収穫からそれを料理してみんなで食べるまでの体験型の大会。「みんなで食べる」ということで参加したいと思えるし、自分で収穫することで楽しく、また、いつもスーパーでみているものより身近に作物の存在を感じられる。その大会の中で、「このような作物を守るためにみんなで環境問題に対する意識をもとう」ということを伝えれば、参加者たちは、少しでも意識が上げられると思う。
僕が行ってみたいと思う環境イベントは、秋の紅葉の時期においもをうえて、みんなでサツマイモパーティーをしようというものです。このイベントは落葉の環境をよりよくしようという意識が生まれ、落葉はきをすることができ、またサツマイモという旬の食べ物 みんなが食べることで、コミュニケーションの場をつくることことができる。このイベントでは主に山に行き、人々が日々ならやらない大変な落葉はきをサツマイモを食べたいという意識でできるようになるというもので、特にお金がかからないし、木を使って火をつけることができるので、環境に配慮していてよいと思う。このイベントが上手くいけば季節をかえて、夏か冬、春などにもそれぞれ焦点をあてて事業の拡大をできると思う。
今の日本では発電方法にかたよりがあり、災害などで発電所が停止した際に大規模な影響が及ぶ恐れがあります。そこで、あまり普及していないバイオマス発電に注目しました。私が考えたアイデアは地域の公園に落ち葉ボックスを設置し、地域の人々が落ち葉拾いをして、そのボックスに入れてもらうというものです。その葉は、別施設に持って行って発酵させ、そこからバイオガスを得ることができます。それを発電に使うことで、発電方法のかたよりを少しは是正することができるでしょう。また、地域の人々とこのイベントに参加することにもつながると思っています。是非採用してください。
・空き缶ひろい。なぜなら、自分の住んでるところではよくポイ捨てされていて、いつかきれいにしたいなあって思っていたから。・歩きタバコしてる人を見つけて注意する。歩きタバコをするのが、禁止エリアで歩きタバコをしている人がめっちゃいるから。副流煙などを吸って気分が悪くなるから。
環境にやさしい太陽光発電や風力発電のミニ発電機を設置し、子供たちが何か体験できるようにし、説明文が書かれたパネルも展示して、より深く学べるようにする。実際に現物を見ることで、普段はあまり見る機会がないので、子供たちが興味を持てると思ったから。また、大人向けに、親子で参加する環境クイズ大会や工作を実施する。子供と一緒にクイズに参加することで、親子で環境についての意識が高まり、高得点の人には、景品も用意して、楽しく学べるようにする。工作では、環境にやさしい材料で何かを作って環境を意識してもらえるようにする。
あきカンひろい。なぜなら、ゴミひろいをした後は、気分がすっきりするからである。ゴミの分別活動、ゴミを分別するととてもかんきょうに對してやさしいからである。例えば、どんぐりをひろって、苗を育てつつ植樹するというのはどうでしょう？もちろん、植えて終わりではなく、下草刈りをけいぞくするのがのぞましいです。愛着もわくと思いますし、さいごまでみとると思います。作業のみだとつらくなってしまうので、他のものをくみあわせるといいと思います。
・屋台とかで食品ロスを減らす・みんなで野菜とり・エコバックづくり
・空き缶拾い…なぜなら、よくすてられてる・ゴミの分別週間…ゴミの分別は大事・ブラックフライデー…エコマークついているやつ安くする。・あいさつ運動・歩きたばこをとりしめる・ミドリムシラーメン・どんぐり、銀杏を育てる・せつでん

提案内容
内容…自然環境や環境問題の研究者、環境活動家の講演会 理由…現在、非常に多くの環境問題に直面している中、その対策法は確立されていないはずである。そんな中、私達学生は環境問題について私達はどう行動するのか非常に多く問われます。そこで、私達は講演会に参加することで、知見を深め、未来へのビジョンをクリアにし、環境問題についての自分なりの考えを明確にすることができるでしょう。
体験型イベントだと、ただ論文や研究を発表・展示しているだけの企画よりも子どもが立ち寄りやすく、模型やミニチュアがあるとより興味をそそりやすいので、持続可能な発電の模型を用いて実際電気を作ってラジコンを走らせる体験のようなイベントを行う。さらに大人向けの研究成果などの展示を行う。
「ごみの分別の大切さ」を伝える動画を作る企画を提案します。市民の人は誰でも参加でき、参加者から送られてきた短い動画をつなぎ合わせて1つのPVを作るというものです。参加者にはリサイクル紙でできたおり紙などをプレゼントするといったと思います。またテーマソングを決めて、楽しくごみの分別の仕方を再確認できるようにしてはどうでしょうか。ターゲットは子どもですが、一緒に動画を撮影する周りの大人も分別方法を知ることになると思います。
フリーマーケットが気軽にできるようなイベントを開いておもちゃや服などのリユースを進めることで環境保護を進める。中古なので普通に買うよりも安く買い手が買えるし、売り手もいらなくなったものを買い取ってくれるのでお互いに利益がうまれるし、リユースという点で環境保護にもつながるから。
さいたま市の公共施設で花や木を植える活動を行い、参加者には植えることのできる木などをプレゼントする。参加者は事前にどこに何を植えるか決めることができ、自分だけの園芸スペースを手に入れることができ、花や木を植える活動を楽しめる上、地域の緑化活動に参加することで地域の一員であるという実感を得ることができる。その上、参加によって花をプレゼントされることによって自宅でも園芸を楽しむことができる上、全体を通して緑化により環境の改善に貢献することができる。
環境問題について学べるアニメ上映会。有名作品をコラボするかオリジナルでもよい。でも、ただ環境問題についてキャラクターが説明するだけではつまらないので、エンタメとして一般に好まれるようなストーリーの中にうまく環境に関する内容をおとしこむ。それと、公共団体がつくるアニメでは、キャラクターがラストに「こういう悪いことがおこらないように考えて生活していきたいね」といった内容を視聴者に語りかけるものが多いが、これでは「問題について考えていくこと」がそのアニメで提示された問題に対する“答え”として脳が認識してしまっていて、視聴後に視聴者が自分ごととして考える機会を奪ってしまう。これでは本末転倒なので、あえてアニメ内でそういったことを言わずにストーリーのみにし、作品の世界を現実世界から独立させることでエンタメと同じように余韻を残し、視聴者が自発的に問題について考えるようにすべきだと思う。
ゴミを金に変えよう～Environment is money～ ゴミ1kgあたり100円と交換する。このイベントをきっかけに、近隣に対してのゴミ意識が高まり、ポイ捨てをしないようにする意識や、落ちていたゴミを拾う習慣が身につくと思う。これは環境保全への第一歩になるはず。
～ごみ拾い大会～ ・ゴミ拾いの量を競わせてその拾った量が一番多かった人に何か賞品を与える。このような運動を小学校などで行うと良いと思う。 ～電気がない生活を体験～ まず私たちの生活が電気によりどれほどの恩恵を受けているのか知る必要があると思う。そのため、いろいろや釜を使い米を炊いてみたりする。それによって私たちの生活でどこに電気が使われているかの勉強になると思う。同時に電気の発電を体験させることで、どこで電気を節約できるか分かってくると思う。
〔内容〕自転車×発電でスマホ充電 自転車の車輪を動かす力を利用してスマホを充電する。各地点にQRコードを設置して充電したスマホでログインしてポイントをもらうスタンプラリー式にする。〔理由〕運動をしながら健康的に参加することができ、スタンプラリー式で充電することの大変さから電気の貴重さを学んでもらえる機会だから。
それぞれの家でゴミとして出す予定だった牛乳パックやペットボトル、ラップなどをきれいに洗ってからみんなで持ちよって、みんなで1つのもの（お城とか家とか）をつくる。
電車をSDGs仕様に。外見がより良くなり、電車を頻繁に使うさいたま市民ならば、SDGsにより一層興味を持つだろう。
ごみを拾うごとにポイントがもらえる簡単なゲームをつくって、そのゲーム体験会を行う。そこでごみの分別の知識を得て、その後に実際にごみ拾いに行く。見出しがゲームだと興味がわきやすく、ゲームでみたものが実際にあると楽しいと思いました。簡単なゲームにして小さい子でも取りかかりやすいものにすると思います。何度か期間をあけて開催して、忘れたころに参加できるようにしたいと思いました。
生態系に害のある外来種をとってたべまくイベントをやったらいと思う。あまり自然に触れる機会がない人も自然にふれることができ、自分でかんたんにできるものでもないし、イベントとしてやることでハードルも低くなる。さらに生態系を守ることもできて一石二鳥です。ザリガニとかもたべてみたいのでもいいと思う。
環境に優しいことを展示したりする体験型お祭りみたいなものを作る みんなで植物を植えたり、ゴミ拾いをして、拾えた分だけお菓子がもらえるイベントをしたり手回し発電機を作るイベントとかがあったら良いと思う。クイズなどのイベントでみんなが理解できるようになると良い。お菓子とかがあれば幼い子供も気軽に参加できるようになると思う。
現在、電気代やガス代が高騰している状況がある。そのため節約をしながら環境にも優しい生活を送る展示会を開催し、皆が実行しやすい例を挙げよう。賞品を作っている企業にも協力してもらい普段の消費から出来る事を教えてもらう。
祭りの屋台などで、家でできる環境対策についてのクイズを実施し、〇問以上の正解で屋台のものを無料にするというイベント。祭りは学生などもたくさん来そうなので、屋台の物が無料になったらうれしい上、家でできることのクイズにすれば、身近に感じこれから家で実際に家でやってくれるかもしれないから。
正直なところ、私達一般市民の大半はそもそも「環境」について大きな問題意識を感じている人が少なく、「環境」のイベントと聞いてわざわざ休日に出向く人は少ないとも言えます。そこで、「環境」について興味をもってもらうために、行ったらなにかがもらえるなど別の目的を作ったら参加者が増えると思います。例えば ・SNSで現在流行している物とのコラボ ・アニメや漫画とのコラボ ・著名人に会えるなどのイベント etc … →これらと「環境」をくみあわせる！
<植樹イベントを開催！>森林再生のために人々が集まって木や植物を植える活動。終わったら自分でも植物を育てられるように種や木鉢などの道具をもらえる。<理由>自分が直接的に環境に貢献しているのが実感できるから。植物の植え方、育て方を1回学べることで今後も同じように植えることができるようになる！
スタンプラリーの実施。自分がどれだけエコな生活を送っているかのチェックシートに記入したらスタンプカードがもらえます！！スタンプを探してスタンプ台に書かれている2択か3択の中から答えだと思うスタンプを選んでカードに押す。全部のスタンプが集まったら提出。スタンプが集まったら景品がもらえ、答えが全問正解だったらもっとたくさんの景品がもらえます。<理由>チェックシートによりエコな生活を知る。スタンプのクイズを通して知識が深められる。スタンプの景品とともに子どもでも分かる簡単なエコブックを渡してもよし。スタンプができてクイズもできるなんて一足二鳥！！

提案内容
町中掃除ツアー！ 町の名所を観光するのが目的 ・ついでにゴミも拾っちゃおう ・事前に掃除してほしいポイントをかいた地図をわたす。 ・掃除ポイントにスタンプをおしてスタンプラリー ・全部掃除したら豪華景品！？
内容：川清掃プロジェクト 川の浅い場所や川原に落ちているゴミを市の清掃の方々と参加者10人程度を1グループとして綺麗にする 理由：川に棲む生物の様子などを観察したり実際に河原を歩けば環境問題の当事者意識が芽生えると思うから。
<内容>市内で鳥などの生き物が集まるようなエリアをめぐるスタンプラリー（スタンプの絵柄も生物） 行った先々でその場所の管理方法や、生態系保護のために何をしているのかや、見ることでできる生物について展示を見て学ぶスタンプをすべて集めた人には、市内で見られる生き物のステッカーなどの生物がらみのグッズがもらえる。 <理由>私は鳥が好きなので、色々見に行きたいのですが、目当ての鳥が来るエリアなどは詳しくないので、結局近所にしか出かけません。しかし、スタンプラリーなら場所もわかりやすく、色々な生物を楽しく見に行けそうだから。
内容…ツリーハウス体験移住 何か所かにあるツリーハウスを巡ってその上で写真や風景を撮ったりツリーハウスの上でお昼ごはんとかも食べるツアー形式にする 終わりに木でできた小さめのおもちゃを配る 理由…ツリーハウスはそもそも木でできてるし、木にくくりつけたりとかで成り立ってるものだから自然、環境の大切さを学べるいい機会になると思った。またなかなか見れない高所からの風景は圧巻なものだろうから強く印象に残ると思った。
私は地域のひととゴミ拾いをして1番多くのゴミを拾った人に地元の商店街の商品券をあげるという環境イベントがいいと思いました。地球にやさしいグッズでも余ってしまったり、その人がいらない物だと結局意味がないような気がするので、商品券の方がいいと思います。
世界の大陸や地方で行われている環境について、自然破壊や保護の取り組みについて、ブースごとに分けて紹介すると面白いと思う。環境は気候や文化、その土地の暮らしとも関わりがあると思うので一緒に紹介したらいいと思う。会場を世界地図と同じ配置でブースみたいなのを作ったら面白そうだと思う。大陸や地域ごとに紹介の仕方や体験のやり方、装飾などでそれぞれの地域の雰囲気も味わえたら面白そうだと思う。
水力発電、地熱発電の仕組みや排気の影響を表す模型やポスターの展示。環境に関するトランプやカードゲームを作製し、遊びながら環境を学ぶという企画。子どもからお年寄りまでたくさんの方が楽しめるような企画だと思います。「遊び×学び」によってより興味を持ってもらえると思います。
環境保護に関するシミュレーションゲームや楽しく体験できる場所をつくり、おかしなどの景品も設ける。
さいたま新都心等の駅周辺がにぎわっている地域の改札から出てすぐで何か展示をしておけば必ず目に入るから、頻繁に利用する人なら興味が無くても1回くらい来てくれるようになるかもしれない。
地元の1次産業に携わっている人を呼んで、交流できるようにする。
環境問題ごとに複数のブースに分けてブースを回ってスタンプラリー ①ブースに行く ②その環境問題について学ぶ ③その環境問題についてのクイズを出題（もちろん②で学んだ内容から） ④あたったら赤のスタンプ、間違ったら青のスタンプ ⑤全て回り終えたら赤のスタンプの数×2point 青のスタンプの数×1pointとして、得点を計算し、得点が良ければ良いほど良い景品がもらえる 理由 スタンプラリーは気軽に出来る上、得点が良いほど景品がもらえるのなら学習意欲と競争精神が生まれて積極的に知ろうとするから。
環境啓発の歌を作る。イベントではその歌を流す。
環境問題を題材とした謎解きを作り全て正解したら1つのワードが出てきて、それが合っていたら景品をもらえるようなイベントがあると謎解きを楽しみながら環境について学ぶことができるし、楽しいので良いと思います。個人でもグループでもできるようにしたらより良いと思います。
テーマ：神対応を目指せ！ アイドルがネガティブな意見に対して紳士的な神対応をするのと同様に環境に対しての神対応を目指す企画をする。環境（森林などの）がネガティブな発言をした後に、お客さんに対話させて、最も良い対応（環境への改善策）を言ったお客さんが環境王。優勝。
テーマ：EPF(Environmental Protection Festival) 環境に優しい材料を使ってお祭りをつくる。そこで買うたびに環境についてのクイズを出して正解したら何かおかしやグッズをもらえるようにする。会場にはゴミ箱を分別して置いて環境に優しく！中には体験ブースもあり楽しみながら学べる！
体験ブースを作り、発電機などを置いて、ブースで遊ぶことで電力がたまる場所にする。遊びながら、電力を生み出すのも体験できて環境に興味を持てるから。
（内容）プロジェクター等で正面に風景を映しながら、参加者は自転車を使って発電し、自分のスマートフォン等を充電するという企画。（理由）普段いつも通りに暮らしていて電気をどのくらい使っているのか電気はどうやって作られているのかなど電気について考える機会はなかなかないと思う。そこで、自転車で発電することで、電気の作り方の一つが分かり、スマホ等をその電気で充電してみることによって、100%にするにはどれくらいの量の電気が必要で、その電気を作るにはたくさんの力があることを知ることができると思ったから。
埼玉県西側の秩父地方の自然に触れるイベント。生き物や植物など人間の生活とは切り離せない関係にある自然を大切にしようとするイベント。近年の工業化による自然破壊について見直すきっかけになると思う。
自転車をこいで電力を生み出す。作られた電力の分に応じて商品券を渡す。マグネットや鉛筆などの使い道に限られる記念品ではなく、使い道がさまざまな商品券やプリペイドカードにすることで、みんな参加したくなると思う。
<区対抗ごみ拾い大会> 3〜5人程度のチームで区内予選→区代表が決勝へ プラスチックなどからリサイクルされた物、もしくは着なくなった服をリメイクした物をユニフォームとして参加する。優勝チームには環境にやさしいグッズをプレゼント
子どもがたくさん楽しく参加できるように大型迷路を作って環境問題のクイズに答えられたら迷路から脱出できるという企画をする。迷路は子供たちがやりたくなるので大型迷路でクイズをすることでたくさんの子供がこの企画に参加してくれると思うから。

提案内容
提案：参加者に使用済みのペットボトルを持ってきてもらい、ペットボトルがどのように他の製品に変わるかを見せる。参加者にはペットボトルが原材料のハンカチをプレゼントする。理由：衣服は人にとって重要であるからこそ、その服の一部がなにからできているかを身近で感じることが出来るから。
・埼玉県の環境に良い取り組みを紹介する。イベント会場だけで買える環境に良い商品を売る。・なぜなら、普段だとどうしても値段が高くなってしまいますのでイベント会場でのみ安く売ったらみんなの良心もはたらき、買いやすくなるので良いと思ったから。
リサイクル用にだされたペットボトルや段ボール、紙ごみなどがどのようにして新たなものになるのか、工場などに行って実際にみてる。小さい子は実際に目の前で何かが変わって行くのを見るのが楽しいと思うし、大人も新たな学びが出来ると思う。
さいたま市、その中でも特に人口の多く人気のある大宮、浦和辺りを軸に考えると、どちらも都市開発が進んでる反面、電力を多く使う、大気が汚染されてるなどの問題もある。そこで大宮浦和が共同でマスコットを作り、環境保護に関する動画を生徒たちと一緒に見て、最後まで見切った子にはバッジをあげるのが最も食いつくと思います。共同でやることで、仲の悪い2つの区が手を組む程大事なことなんだと認識できます。
・落ち葉を貼り巨大な絵を作るアート体験　・森林サイクリングツアー　・清流で釣りそしてBBQ　・廃棄予定の木で遊具を作る　・町中のゴミ拾いをし、ゴミの量が多かった者に上から順に豪華景品が与えられる
太陽光発電でメカ作り　日本で一番日照時間が長いのは埼玉県であるがそこまで知名度がない。そこで太陽光で動くおもちゃを作成し知名度を上げるとともに、二酸化炭素をほとんど発生させない太陽光発電を身近に感じさせることによって環境改善に対する意識を高めてもらう。
環境テーマパークを開催する　記載例として書かれていたアイデアが模範解答レベルなので、そのまま採用して良いと思う。「環境にやさしいグッズ」で思い浮かんだものはエコバッグ。可愛いキャラクターが描かれているものだったら子供が喜ぶと思う。
お食事会！～食料廃棄を減らそう～　・料理するところからスタートし専門家を呼び、一般の人に普段捨ててしまうような部分の利用法や可食部などを深く知ってもらい、食料の廃棄量を減らすまた食べる部分が増えるので各世帯の節約につながる（経済が回りにくくなるかも）　・生産者（野菜だったら農家の人など）を呼んでその商品の良さや手の込んだ所を教え、食品の大切さをわからせる　・みんなで料理するから、その人たちと仲良くなり地域のコミュニティを作れる　・ご飯を食べることも苦しい人の助けになる
私は環境の啓発も込めた何か創作できるものがあっていいと思います。例えば今でいうと、スノードームとかを自然のものを使って作るなど。あとはお菓子作りとかもあって楽しいと思います。食べ物×環境はあまりない組み合わせかもしれないけど、お菓子とかなら人気で楽しめるかなとは思っています。子ども、若者、大人、老人とそれぞれ興味を持つものがちがうから、それぞれに合わせたものをしてもいいと思います。（私のは若者向けです）
植林、植花活動をするべきだと思います。でも、ただの植林植花をするだけでは関心を持ってもらえる可能性が少ないので、活動が終わった後に地元の食材を使って鍋を作ってみんなで食べる（いわゆる鍋バ）みたいに何かしら食べ物のリターンがあると参加してくれる人も増えると思います。参加してくれた人に〇〇をプレゼント！とかだと、その景品に興味が無い人は参加してくれないから、おいしい鍋とかの方が確実に人を集める力とかがあると思うので、こんな感じの植林+鍋バみたいなのがあったら自分は参加してみたいです。
みんなから人気なマスコットキャラクターをつかって映画をつくり、小さい子供から大人まで楽しめるような内容で環境も学べるようにして、上映会を定期的で開催する。そうすることで、幅広い層の人が楽しく環境について学べて、新しい知識が増えるはず。
特撮ヒーローみたいな環境レンジャーを作って一緒に遊んで学ぶ。
地球の温暖化を促進するガスを排出しない車を運転するシミュレーションゲームを作る　その車をゲームの中で運転するというんな町で様々な環境問題に悩まされていることを知って、それらを解決するために今自分たちができることをクイズ形式で子供から大人まで全員に考えてもらい、ランキング上位には何かしらプレゼントをする　（理由）車を運転するゲームに興味がない子供はいないでしょう。自分の好きなように運転しながら、今世界が抱えている深刻な問題について考える機会になると思ったからです。
ゴミから作ったリサイクルグッズの販売　理由　実用的なものを売れば買いたいと思う人がいると思うから。
CO2を排出しないで作った食べ物を環境に優しい方法で売る。そうすればいろんな人が来ようと思える。地元の食材を使うとさらに良い。
色々な廃棄されるゴミ（ペットボトルなど）を使って、子供向けの手作りのアクセサリ（作れるものならなんでも）体験会を開き、ゴミ問題などといった身近なことから環境問題に対しての興味を持ってもらう。
子供でも参加できるような二酸化炭素を削減したり大気汚染をどうやったら防げるかを一緒に考え、数日間活動するイベント。理由：最近、ニュースなどを見ると、世界各国の大気汚染問題や地球温暖化による水面の上昇や、オゾン層の破壊など環境問題が大きな問題となっており、日本もその例外ではない。そこで、今まで考えてこなかった大人たちに、今から考えることを押し付けても良い発想が出てくるかはわからないので、そういった世界の問題を小さい頃から考えることで、将来の考える力もつき、環境問題を解決する手段にもなりうるから。
<内容>・～小学校中学校対象　・リサイクル用品を使ったワークショップを行う（ペットボトルのキャップ・本体や廃材になった木材、新聞紙、使い古した服など）　<理由>・これから担っていく小さい子どもたちが低い年齢の頃からリサイクルやいらなくなったものを利用する経験をすることでゴミなどの環境問題に親しみをもち関心を深めることができるかもしれない。
<内容>さいたま市内の小、中学校などの空いている教室をたくさんつかって放課後スタンプラリーを行う。各教室で小中学生でもわかるようにまとめた資料や環境に優しい発電機などを展示する。その教室の出口にスタンプを設置し、すべてのスタンプを集めると、発電機を組み立てるおもちゃや環境にやさしくするための知識の書かれたクリアファイルなどを交換できるようにする。<理由>・どこかの施設でやるよりも学校でイベントをやった方が行きやすく人がより集まると思ったから。　・手軽に組み立てられるようなおもちゃは小さな子供も楽しめるから。　・クリアファイルは日常的によく使うので環境の知識も使っていくうちに自然に頭に入ってくると思ったから。
環境にやさしい発電機やビニール袋などを展示する。そこにはそれらの作られ方や使い方をそえる。それらを人々に見てもらい興味をもってもらう。また、一人ひとりが環境にはいりよしなかった場合、今後の地球はどうなるのか予想されることをポスターにして配る。

提案内容
みんなでさいたま市内にある川を清掃したり、川沿いのゴミ拾いをする。終わったら皆で話しながらご飯を食べたりして交流を深めたり自分が考えている環境問題について考えていることや心がけていることを意見交換する。これをおこなうことでより身近な所から環境に関する関心や意識を高めつつ、地域の人とのコミュニケーションをとって交流を深めながら若い世代から祖父母世代の方たちと共通の目標や認識を持てるから。
テーマ：エコバッグ製作 無料で参加できるものづくり系統のイベントが良いと思う。無料でなにかをつくったりもらえたりするからという簡単な理由で参加でき、そのついでに今現在おきている環境問題を知ってもらい、客も楽しむことができ、さらに環境問題をたくさんの人に認知してもらえ、今後の社会にメリットが大きい。
アイドルか俳優などの有名人といっしょにできる環境イベント。
テーマ：ゴミ拾いゲーム 名のとおり、さいたま市に落ちてあるゴミを拾うイベントを開いて、ゴミを拾った個数に合わせて景品をもらうというものです。このアイデアの理由は、まず1つとしてイヤイヤではなく子どもでも楽しくゴミ拾いができるということです。大人が忙しくゴミ拾いができないとなる中で子どもが率先してゴミ拾いをして、その子どもたちが「自分が地球をキレイにしている」と自覚すれば子どもの教育にもなります。2つ目の理由はこのゴミ拾いでさいたま市の環境が良くなれば自然に住みやすい町となり、さいたま市がなおさら住みやすい町になると思います。このさき、さいたま市に住むメリットとして道にゴミが落ちていなく環境にやさしく、子どもも住みやすいというイメージがつくとしたらさいたま市が今よりもっと人口が増えて発展すると思いました。
【内容】いくつかの環境に関するクイズや、環境にやさしい物を体験できる場所等のブースを作って、体験したらスタンプを押せて、全て貯まったら環境に良い物が貰える。【理由】スタンプラリー形式なので小さい子も楽しめると思ったから、また、環境に興味を持ってもらえると思ったから。
私たちが普段、使わなくなったものやゴミがどのようにして他の物にリサイクルされたり、どのような形で廃棄されたりしているのかを知れたり見たりできるような体験型のイベント。環境問題をテーマにして、このままでは地球は～になってしまうといった世界的に問題視されていることを扱うイベント。理由は体験型にすることで理解を深められたり、子供でも楽しめるから。また、環境問題をテーマにすることで問題とされていることを自分事として考えることができるようになるから。
体験ブース→体を動かした方が関心をもてるし、記憶にのこりやすいから。ふうせんを配る→目につきやすく、ふうせんが好きな子は多いから。壁にクイズをはって解答用紙にかく。ビンゴ式になっていて一つあてたら環境にやさしいグッズプレゼント
(内容)チームに分けてゴミ拾いをする。→集めたゴミの重さを順位にし、3位ほどまでに景品をあげる。→一度でも来てくれた人にはバッジを配り、次回来たときチーム長になってもらう。(理由)ゴミを拾うことが嫌でめんどくさいのではなく、景品をもらえることで楽しくなる。同時に町がきれいになる。
・内容 ほかのイベントと合わせて休憩ブースの様な部屋を設置し、その中で環境にまつわる映像を放映する。・理由 パッと行ってみたいものが思いつかなかった為、他の行ってみたいくなる物に付属でのせれば良いではないかと考えたから。
夏のエコ祭りを開催する。環境問題について興味をもっているが、なかなか実行にうつせない人が多いと思う。そのため、若者からお年寄りまで親しみやすいお祭りで環境問題を広める。紙コップやプラスチックを使わず統一の食器を使ったり、また植林や工作等ができるブースを設置したりしたら良いと思う。お祭りなので、楽しく体験することを心がける。
川や山に行って自分達で環境を体験しながら考える。理由：自分の周りに自然に関する遊びや学びをする場が少なく、これからの人生に必要な知識や感覚など、多くの事を学ぶことが出来ると考えたから。
さいたま市内で環境に配慮して作られた野菜や食品、ヨーロッパ野菜等を使った料理を食べられる。さいたま市の土地や歴史の展示会・インフルエンサーとのコラボ
私は、環境を良くするために、地域のゴミ拾いを提案します。ただ、ゴミ拾いするだけでは面白くないので、拾ったゴミの量を測り、その量が重い人に景品が配られるというシステムにします。これにより、地域の人々には楽しく、かつたくさんのゴミを拾おうと思うので自分たちの住む街がきれいになり、住ごしやすくなるので、地域の人々が、ゴミ拾いを習慣的に行うようになると思ったので、私はこれをしたいと思います。
「未来のためのエコ・フェスティバル」という名前で、家族や友人、個人で楽しめる体験型イベントを企画します。本イベントでは環境問題に関する知識を提供しつつ、エコなライフスタイルを体験し、日常生活で実践できる方法を学ぶことを目的とします。
環境に配慮した機械などで簡単なおかしや、本立てなどを作れるようなイベントを開催。SNSなどを使って呼びかけをする。またそれぞれの年代に合わせた内容を取り入れて多くの人に来てもらう。体験できるところがあれば来る人も多くなると思う。SNSなどを使えば若者世代が来ると思いました。また主要駅近くで行えば市外の人にも興味を持ってもらえるのではないかと思います。
芸人を呼ぶ 人がいっぱい来る
埼玉県は、ハーフマラソンやフルマラソンがよく開催されているので、自然公園を走る、タイムや順位は関係ないイベントを開催し、自然の中で走って運動するもよし、散歩してゆっくり自然を観察するのも良い。イベントを開催することによって、幅広い年齢の人々が参加し、自然の楽しさを実感して、興味が湧くようになると思います。
自分でエコな素材を使ってキーホルダー等を作る。・作ることで素材に興味がわき、それが環境に興味をもつことのきっかけにもなるし、自分の手でふれることでじっかんがわきやすくなると思ったから。また、興味がなくても工作ならとっつきやすいと思ったから。
(内容)高校生が環境問題を実際に学習し、クイズを作る。また、それに関する実験なども行う。(理由)クイズや実験をするために事前に環境問題について学習するため、今どんな環境問題が起こっているのか知ることができる。
ゲーム方式で若い層がたくさん集まっているようなイベントだと、なにやっているんだろうと、興味が湧いて寄りやすくなると思う。逆に、年寄りばかりだと、どうせつまらないというイメージが出てしまうので良くないと思う。

提案内容
内容：自然破壊の問題について授業をしたり、実際に植物をうえたりして、自然に対してふれることで自然の大事さを理解したりする。理由：最近、自然破壊が問題になっているので、それについて知りたいし、植物を植えるのは楽しそうだから。
人気なアニメや漫画、映画とのコラボ。環境イベントは少し堅苦しいイメージがあり、特に若者たちからはそこまで興味を得ることが難しいが、人気のアニメとコラボすれば、そのイベントに興味が集まり人々が好きなアニメキャラといっしょに勉強できるためwin-winの関係になることができるから。
内容)リサイクル素材をつかったアート作品の展示会をひらき、賞などあれば景品をもらえるようにする。その場でどんなりサイクル素材を使うか決めてつくる 理由)・子どもから大人まで物をつくるということは楽しめるから。・どんなりサイクル素材があるか知らないからおどろきもある・展示会なのでつくりず、見に来る人もいてその人たちにもつたえられる
ぼくは環境について未来の世界を大きく変えるとても大切な事であると考えている。そうするには多くの人に興味をもってもらえるイベントをするべきである。サステナブル未来ラボという科学とアートを重ねた参加型のイベントを提案します。そこには2050年の地球のめけいや新しい素材に触れることのできるブースも設置したい。あとは食物も作りたい。
自分の食べ残しを土に埋め続ける。それにより、雑草などが生えて、二酸化炭素を吸収してくれて、地球温暖化しないようにする。これならば、誰でもできるはず。そして、食品ロスも減らせると思います。これを学校で行い、でかい木を作りましょう。
体育館でガラクタ市を開き、一定金額以上を購入した人に商品券をプレゼント
テーマを(環境)とし、最も(環境)を感じさせることができた人が優勝し、景品を獲得することができる。SNSを利用し、かくさんすることで多くの人に知ってもらい参加してもらう。環境を題材にすることで参加する人たちは環境について調べるため興味、関心をもってもらう。このイベントも多くの人に知ってもらえれば知名度が欲しい参加者は優勝を目指して頑張り、視聴者も優勝者が気になり環境について知りたくなるから。
新しいエネルギーだけを使った機械を見てみたい
エコバッグ作りワークショップ・使い捨てプラスチック代替品を試す体験・食品ロスを防ぐ料理デモンストレーションなどを通して、参加者が楽しいと思える体験を通じて、自分の日常生活でできる環境保護アクションを学ぶことで具体的な行動に移しやすくなるといった理由
荒川水系の川にウェットスーツを着て生物観察会を行うことを提案します。理由としては、国内在来種の減少や外来生物によって生態系が脅かされていることをより多くの人に知ってもらい、保全活動として外来種の駆除や河川管理等を継続していってもらうために必要であると考えたためです。
内容 4人チームを作って範囲内、時間内でどれだけゴミを集められるかを競う。ゴミの重さで順位を決め順位ごとに景品をあげる。最低でもジュース・商品券をあげる。理由 町がきれいになる。
ごみ拾いをたくさんする！
・有名人をゲストとして、その人からSNSでよびかけてもらって、来てもらうようにする。有名人に環境について心掛けていることなどを聞いたりする、講演会みたいなものを開く。・〇〇と環境の融合とか、例えば、光だったら、いろんな花や葉と一緒にイルミネーションなどをして、そこにいろんな説明とか、環境について展示する。
毒をもつ植物や動物のレプリカや本物の展示会。山登りや山菜採りなどをしたときに危険な物なのか見極めることができるようになったりするため、今後の生活にも必要だと思う。また最近では毒の展覧会を開くところが多くあるので若者が毒に関心をもっているだろうと思いました。
クイズ形式や、ゲームのような形で環境問題について体験型で学べるような内容にすれば、気軽に参加しやすく、子供も楽しめるイベントになると思った。また、体験型にすることによって、参加者自身の経験として残りやすく、環境啓発の効果も高まるという長所もあると考えられる。
河川のゴミ拾い。近年、多くのゴミが河川に捨てられていて、生態系に影響を与えているため。
近年、海などにプラスチックが浮いていることがある。そのプラスチックは、なかなか分解されずに100年以上かかることもある。また、小さくなった、マイクロプラスチックは、魚に影響を与え、クジラなどはビニール袋をクラゲだと思い込み食べて死んでしまうケースはそう多くない。そこで微生物が分解してくれる生分解性プラスチックを、一緒に作ろうと思った。そうすることで、街の地域活性化にも活かして、また、自然についてもっと知ることができると思った。実際に本物のプラスチックと生分解性プラスチックを、土の中に埋めてどのくらいで分解されるか実験するのも良いだろう。生分解性プラスチックは簡単につくれます。
ゴミ拾い大会 理由 楽しくゴミを拾えるから
緑のカーテン 自然を増やして酸素を増やす ガソリンなどを使わない自動車を宣伝。
コンビニやスーパーなどの廃棄される食べ物をウニのエサにして、食品ロスに貢献して、ウニをいただく。SNSでウニが、結構何でも食べるという話をきいたので、ウニの養殖に使えば食品ロス削減につながりそうと思ったため。
内容：街を歩いて綺麗だと思ったところなどの写真を撮ってもらう。誰の写真が良かったか投票で決める。拾ったゴミの個数（写真を撮る中で）を自身の投票数として加算できる。理由：写真を撮ることで、改めて地域の状態に注目できると思うから。ゴミ拾いもこめて。

提案内容
テーマ：ゴミ拾いオリンピック開催 参加者がチームを組んで、指定範囲の地域（街中）のゴミ拾いをして、ゴミの種類や重量によって、点数をつけ、チームでその点数を競う大会。→ゲーム形式にすることで、子供から大人まで楽しく参加できると考えたから。また、ゴミ拾いで街がより一層綺麗になるという利点があるから。
テーマ：打ち水 打ち水イベントは、夏に打ち水をすることで涼むこともできて、楽しく参加することができると思う。参加者には、安全性には問題ないが、わけあって売り物にできなくなっただけの「食品ロス」のもととなる、お菓子などを参加賞として配る。
・このまま環境破壊を続けた地域を可視化し、グラフなどにも表して駅や電車に貼る。理由→私たちが環境ボランティアに参加しないのは、将来的に地球がどうなるかの理解が低いからだと思う。そのため、電車や駅という人目につく位置に、自分たちが行っている環境破壊がどのような結果を招くのかを示せばよいと思ったから。
このような提案書を電子版にすればいい。この紙をつくる料金と紙が無駄。
ごみ拾い。ごみ袋一袋分で飲食店で割引チケット。
テーマ：ペットボトルのふたで絵をつくろう！ 多くの人は日々ペットボトルを買っている。ペットボトルのふたをみんなそれぞれ家から持ち寄って、大きな板にはめていって1つの絵をつくる。下絵があって、ここには何色をおくとかが決まっていてそこに合うペットボトルのふたを自分たちではめていく。何枚かあってはやく絵を完成させる。
自然の木の実などを使ったアクセサリー作り。楽しく自然の楽しさを再認識するきっかけになると思ったから。
植林イベント 自分たちで木をうえることで自然を実感できる。
テーマ：ゴミ拾い ゴミ拾いをしながら10kmランニングをして、広い地域をキレイにする。
バイオマスファールなど環境に良いものや環境保全に関わるものの展示・販売・プレゼント 漢字を読み解くゲームみたいなクイズゲームを環境クイズで行う。発電所や環境関連の施設の見学ツアー。
テーマ：ボイ捨てを無くそう！・ボイ捨てされたゴミを制限時間内に一番多く拾った人に賞状と賞品（エコバッグなど）をプレゼント。・ボイ捨ては、私たちに一番身近でまた、減らしやすい環境問題であるから。
・幅広く人気なアニメとコラボする。・CMを出す。新しい層を取り込むことができる。
テーマ：植木体験 木を植えることで、環境に対する意識を高める。多種多様な植物を用意することで、おしゃれにもなる。
環境に関する問題でスタンプラリー 何か所かブースを設置して、クイズを出す。
ゴミを集めて何か使えるものにする。 ゴミに無限大の可能性を見出す。
テーマ：草刈り 集めた草の合計重量で競い合い1位のグループには景品をあげる。場所 芝川沿い グループ最大人数4人 参加期間その都度決める→数日間にする事で都合の合う人が参加しやすくなる。欲まみれの人が本気で競い合う。数十万円レベルの景品であれば話題になり町に活気が出ると思います。芝川沿いの草を刈るのに毎年数百万円かかっているのに、数十万円レベルの景品のあるイベントであればやる気のある人や欲まみれの人が多く参加し、かなりの規模になると考えられます。全ては刈れなくても景品分以上の草は刈れると思います。
・魚にマイクロプラスチックを食べさせる場面を実演して良心に訴えかけるイベント 理由：人々の心にアピールしたいから。
ゴミ拾い（参加者にはお菓子などを渡す）
・電気自動車買ったらその世帯の電気代無料
木を植える。→植えた木とかを使ってリースやクリスマスツリーをつくる。そのことで木をうえてそこから作ることの楽しさを知ることができる。
・ごみアート・環境学部に有利になる検定をつくる。
テーマ：木を植える さいたま市の象徴に。

提案内容
川が汚いことが多いからもっとせんじょうした方がいいと思う。さいたま市だけに環境税っぽいものを導入するか、あったとしたら増税すれば最高の環境都市になれると思う。
・さいたま市内でゴミ拾い大会を行う 1位〜3位までの人に環境に優しいグッズをプレゼントする。参加者には参加賞として何かプレゼントする。（理由）ゲーム感覚で環境について興味をもてる機会になると思うから。
ゴミを集めて換金
流行のアニメやアーティストの名前を借りたり、参加した特典としてグッズなどを無償で配布。
かつての風流貴族の様に、庭園をこしらえ、環境を考慮した短歌について詠む。アンモニア発電の物理現象解説。
地球温暖化を自分で再現してみる。ミニチュアのようなものを使って、どのような流れで地球温暖化が進んでいるのかを再現し、子供などにも理解しやすいようにする。体験形式なことでやってみたいと思う人も多くいるだろうし、再現していく中で、自分ができる解決策に気付けたら思ったから。
竹の整備（たけのこ狩り）…自然に触れる為。
彩湖のナイトツアー 夜行動する生物が見れたりして楽しそうだから。外来種をさばく 外来種を上手にさばいておいしくたべよう。
みんなでゴミを集めるレースをして、たくさん集めた人が優勝。制限時間は1時間で1〜3位の人は、特別な賞品がもらえて、参加した人全員に参加賞をプレゼント！理由はゴミをみんなでひろうことで、環境がきれいになって、みんなも楽しめるとおもったから。
テーマ：川＋泳ぐ 近年川で遊んだ後にゴミを置いて帰る人がいて困っているのを聞きました。なので川で遊ぶとともに川でおよぎゴミを拾えば一石二鳥だなと思いました。しかし川での事故の可能性もあります。なので救命道具の着用など安全に考慮して行うべきだと思いました。
私はアイデアとして、「ゴミを使って、作品を作るワークショップ」を提案する。具体的には、街中に落ちているゴミの回収を行い、回収したものをを使って何か一つの作品を作りあげるというものだ。実際に街中のゴミを回収することでゴミ問題の大きさを実感してもらおうと同時に、芸術作品として生まれ変わらせることで再利用もできる。さらに、作った作品を人通りの多い場所に展示すれば、ワークショップの参加者以外にもゴミ問題をより身近に感じてもらえると思う。以上のことから、私は「ゴミを使って、作品を作るワークショップ」を提案する。
テーマ：電気自転車発電 自転車でどのくらい発電できるのかを確かめる。発電をするのがどのくらいエネルギーを使うのか実感してもらう。1分で自転車をこいでどのくらい発電できるのか競う。そして、その発電したエネルギーで何が出来るのかを知ってもらう。
内容：若者に人気のアニメとコラボした環境イベントを開催！！人気アニメとコラボした環境ブースを設置し来場者にクイズやスタンプラリーをやってもらう。クイズに正解した人やスタンプラリーをクリアした人に環境にやさしいコラボグッズをプレゼントする。理由：若者が環境に興味を持たないといけけないので若者が好きなアニメとコラボすることで若い人に来てもらう。
・埼玉県にあるトトロの森や東武動物公園などでスタンプラリーをしたらたくさんの人がくるとおもいます。・くさかり機をじっさいにしようできるイベントをかいさいしたら草刈りもできるし、それに参加した人々がそういう機械にきょうみをもつかもかもしれない。・かみこうさくで風力発電のプロペラなどを作ったりして、作ったものに対する興味をもたせて、実際にそのものがある場所へ行き、自分が作ったものと見比べるとというイベントがあればいいと思います。
SNSに環境に良い写真をツイートしたら、環境にいいクリアファイルをプレゼント！（例）車で行くところを自転車で行く。理由：若い世代にも環境について知ってもらうため
川でバーベキューをして、近所の方々と触れ合いながらゴミ拾いをする。理由：今は、近所の人と触れ合う機会が少なく、いい機会になると思うから。
僕が行ってみたいと思う環境イベントは「環境×マラソン」イベントです。マラソンの参加費の中から環境保全のためのお金を出したり、走っている途中や、給水の所に環境の知識を書いたり、完走した人には環境のグッズを渡すというイベントです。理由はマラソンに参加する時点で環境のためのお金が払われることが意識だけでなく、本質的に環境の為にになっていること、僕のように走るのが好きな人が環境に興味を持つきっかけになればいいと思ったからです。
テーマ：地球温暖化について 地球温暖化の影響についてのクイズに答えてもらう。実際に車などの二酸化炭素が発生するものによってもらい、どのくらい発生するかを実感してもらう。知識が増え、実感してもらうことで対策をすると思うから。
テーマ：登山＋ゴミ拾い 富士山では数十年前からゴミ問題に取り組んでいると聞いた。多分、富士山以外にもゴミがたくさん落ちている山はたくさんあるだろう。だから、ゴミ問題で悩む山でゴミ拾いのボランティアを行う。そうすれば、ゴミは減る、運動になるの一石二鳥だなと思った。
傷があったり、何らかの理由で売れない果物や野菜を利用したフードフェス。売れなかった果物や野菜を調理することで、見た目を気にすることなくその農作物を味わえ、どの農園のどの農作物が美味しいかを見つける事が出来る。また農家の人も自分で育てた農作物を捨てることなく、その上自分の農作物を宣伝出来るから。
自転車発電大会を開く。時間制限を決めてその時間内で誰が一番多く発電できるか勝負！！年齢や性別ごとの部門でチャンピオンを目指そう！友達や家族で参加しやすい。自分で発電することで電気の大切さに気付いて、節電の意識を高めることができる。

提案内容
・実際に風車へのバードストライクの研究をしている人やより細かい研究をしている人を呼んでギャラリー設営をする。・観光地などへ行ってゴミ拾いをしてガイドさんについてに観光地を案内してもらい楽しめるようにする。→実際に触れる機会が少なく実感がないから。
内容：2～3人で1組作って2組～3組で環境クイズや環境の体験スペースでスタンプラリー式でやっていき全部集めたら、お菓子1袋あげる！！みんなで食べるスペースとか話すスペースとか屋台とか出して楽しむ。理由：環境イベントはパッと言われた時分からないから違う部分で楽しさを出してやってもらって知ることが大事だと思ったから。
テーマ：間伐で切った木を使ってキーホルダーを作るイベント　林業の間伐で切られた木を無駄にするのもったいないため、何かに利用できないかと思いこのイベントを考えた。間伐の木であるため、あまり太くなく、輪切りにした物を彫刻刀でほったり、うすく切った木を切って文字にしたりつけたりしてキーホルダーを作れると思った。このイベントを通して、間伐の木を無駄なく使えるとともに、子供に林業に興味を持ってもらえると思う。
小さい子供などは見ていただけだとつまらない、物足りないと感じるので体験型のイベントを入れるべきだと思う。例えば、環境に配慮した製品の物づくり体験だったり、実際に環境に配慮した職業に就いている人の職業体験をするのは楽しそうなので行ってみたいと思いました。
環境に優しいキッチン。環境に優しい、サステナブルな食品や、リサイクルされたものが作られた調理器具だけをを用いたお店を、期間限定のレストランとして出店したり、キッチンカーとして公園に出店して、様々な人に環境に優しい食事を体験してもらう。また、サステナブルな食品だけを用いて、料理を試みる。料理体験会も行う。
環境クイズを作って市役所や役所の近くで行う。一番多い正解数だった親子や学生などにプリペイドカード3,000円分をプレゼントする。これを月に1回行う。何日に行うとホームページに掲載する。(金を出すことで人を集めやすくする。)
みんなとゴミを拾おう。ある場所に参加者を集めて、そこで1番ごみを集めた人に賞金500万円、最初はお金目的で参加した人も、ゴミを拾っていくうちに社会に貢献しているという実感を感じる事ができ、また達成感を得られることでしょう。そして、人とコミュニケーションもとりながらゴミを拾うことで新たな関係作りもできますし、楽しくゴミを拾うことができます。今でも、ゴミのポイ捨てやたばこの吸い殻を捨てるなどがエスカレートすることで現在のプラスチック問題などに発展していくので、ゴミ拾いというものは単純な動作ではありますが、とても大切なものです。だからいろいろな人々にゴミ拾いの重要性を再認識してもらおうということがこれからの環境をより良くする第一歩なのでは、と思います。
ごみ拾いをするイベントで、拾ったごみの量に応じてポイントがもらえるようにして、そのポイントで地域の特産品と交換できるようになればいいなと思いました。
宝探しのような感じのゲーム。環境についての問題を何問か解いていって、たどりついた先に、落ち葉とか木とかどんぐりとかでつくったキーホルダーやアクセサリーみたいなものをもらえたり、つくれたりする。たのしく環境を知ることができるし、もっと知りたくなってくれるかもしれないから。小さい子でもできるから。
イベントの内容「みんなでお花を植えよう！」その場所で、みんなでお花を植える。理由としては、どの年齢でも、参加することができ、お花は植えてからの経過も、楽しむことができると考えたからです。さらに、市役所前などに植えたりしたら、市役所も、もっと華やかになり、人通りも多いので、参加者としても、お花をよくみることができると思いました。そして、イベント参加者には、参加賞として、その後にお花が枯れてしまう前にドライフラワーにして渡したり、もしくは、ドライフラワーから、ハーバリウムを作るというイベントを再度開くとよりいいと思います。
若い世代に向けた環境についての講義をおこない、講義で得た知識から出るクイズ大会を実施する。そこである一定の問題を正解できたら、クリアファイルやシャーペンなどの日常で使えるものをはいふするイベントがいいと思います。若い世代の人々は環境についての取り組みをやらないのではなく、知らないからできないと思うので、知識を広めることが大事だと思うから。
鉄道会社or自衛隊参画のイベント
おいしいエコフェスティバル　売り物にされている食べ物は自分でサイズを選べて、食べ切れるだけの量を頼めるからフードロスが減る。容器も洗えば再利用に出せるプラスチックのみを使う。(理由)来場者もおいしいものが食べられて、売る側も楽しめるようなお祭りに行ってみたいし、極めて環境にも配慮できるもののがいいと思ったから。
人が多く集まる場所(公園やショッピングセンター等)で有志の学生と一緒に広報イベントを開催する。。小学生や未就学児にはイベントに参加してもらったら風船を配り、イベントに来ていない人が欲しくなるよう参加を促す。中・高生や大人にはインターネットで会場の様子や内容を拡散してもらい、投稿が確認出来たら環境に配慮して作られた文具やコスメなど企業とタイアップして作ったものを配る。理由は、自分が幼い頃に風船を持って同年代を見ると自分も欲しくなったから。中・高生、大人向けの提案の理由は、多くの人がインターネットを利用する現代社会ではポスターを町内に貼ったりするよりも身近な人が拡散している内容の方が人々の印象に残ると考えたから。
さいたま市の学校で環境イベントを行う。文化祭で環境イベントのブースを作り、代表生徒たちがそのブースを作り、環境に関するイベントを行う。そしてその様子をまとめプレゼンをする大会をひらき、優秀賞を決めその学校の文化祭でつくったイベントブースを駅でもやる。最初にやることを文化祭にすることで、はば広い年代の人に知ってもらうことができてよい。
環境問題を題材にしたアート作品を募集して優秀作品をその中で選んで展示するというようなイベント。(理由)実際に口で環境問題を説明されるよりも、親しみやすく一日で環境問題がどのようなものかが分かるから。
もしこのまま環境破壊が進んだらどうなるかをCGが何かで映画として作って、それを上演会のような場で上映するというのもいいと思う。一度こうなるということを見せたら、環境意識も変わるのではないかなと思った。
環境についてのクイズや実際に実験が体験できるゲームなどを企画し、参加した人全員にお菓子、クイズに正解した人やゲームで勝った人には環境に優しいグッズをプレゼント。参加するだけでお菓子が手に入るのみんな参加しやすく、環境に優しいグッズが手に入る可能性があるのだから皆やる気になるから。
環境イベントのみの開催だと、行く人は少ないと思うので鐘塚公園で有名なアーティストを呼んで集客して討論会をして欲しいです。歌手などでアーティストに限らず、タレントなどと呼ばひ、昨今話題のディベートバトルをやれば、みんな、話を聞き、環境問題について深く考えるはずだと思ったからです。
埼玉県の特産品などの収穫作業を実際に手伝える場所を作る　深谷ネギなどの収穫を手伝ってもらい、収穫後、参加してくれた方々で深谷ネギを使った料理を皆で作って食べてもらう。理由：埼玉県のことをよく知ってもらうためにはまず、埼玉県では何が有名なのかを知ってもらうべきだと思ったから。

提案内容
深谷ネギやなしなどの埼玉県の特産品を使って、それをボランティアで収かくして、みんなで調理して食べるというイベントを埼玉県の特産品のあ る地域で行う。
環境活動に意欲的なヨーロッパの学生と意見を交わす。日本のエコな文化、問題…と、相手との共通点について話すことで学生の意識の向上や、新 たな学びが期待できるのではないかと。
4、5人で参加し、一人が回答者として、環境スタンプラリーに挑戦。残りの人が自転車発電機で電球に発電して、電球が光っている間にクリアで きれば成功。成功者には、環境に優しいグッズをプレゼント。
廃棄食品を使ってシェフが料理を作り、それをその場で食べられたり、レシピを教えてもらうイベント。食品ロスを少しでもかいて、そのイ ベントに参加することで普段から捨てる食品を少なくするように心がけられるようになると思う。
ワークショップを展開する　DIYで何かを作ってそれを持ち帰る。自分で作ることで環境の事が理解できやすいなと思ったから。
イベントに参加した人に、エコバッグなどの環境に優しいものを渡す。なぜなら、環境に優しいものを渡すことで、環境を意識してもらえと思う から。
昨今は、大人だけでなく、子供達も小さい内から環境問題について考え、将来それについて取り組んでいく必要があると思う。「子供達」は、自分 達高校生も含んだつもりだが、普段友人と話をしている、そこまで真剣に考えている人がいないように感じた。そこで、幅広い年齢層の「子供 達」が楽しめるよう、自分達が普段行っていること(ペットボトルの投棄や、食品の廃棄などが)、どのような因果関係で、結果的にどう環境破壊へ とつながるのかをアニメなどでわかりやすく表現したものを、イベント形式とは少し違ってもいいが、商業施設などで上映会を行うといいと 思った。
「大花だんに花植え体験　さいたま市のアートを作る」普段花を植えたり育てている人は少ないから、貴重な経験になると思う。また花でアートを 作ることで花が育って完成するまでの間にワクワクすることができる。参加者に景品としてできたアートのマグネットやキーストラップなどをあげ ればもっと面白いと思う。区ごとに別々のアートを作れば、特別感が出ていいかもしれない。このような経験をすれば、園芸に興味を持った人だち が自分で挑戦することでより環境も良くなる。
環境に優しいものだけを使った工作会。若い女性向けには、アクセサリーを作るブースを設置したり、小さい子供が絵を書けるような大きなキャン パスを用意するなど、芸術を楽しみながら、環境について学べるように。(理由)最近、おしゃれなハンドメイドができるお店やカフェが流行ってい たりするし、完成した作品を持ち帰ることで、思い出にもなる。また作品を見る事で、環境についても思い出することができるから。
年単位の植林活動を行う。まず、さいたま市が簡易的なプランター(土入り)と樹木の種を駅や、市・区役所、図書館、小・中・高校生(長期休みの課 題として)で配布。配布時に住所、電話番号、氏名を用紙に書いてもらう。種の芽が出て、成長した頃にさいたま市がハガキなどで植林の案内状を 送り、第1回のイベントを開催。それから定期的に森の手入れをするイベント(第二回以降)を行う。参加回数でスタンプカードを作り、一定回参加 すると景品、学生であれば内申書に記載できる参加賞を配る。
環境について考える機会が今はかなり少ない。今行動を起こさなかったら何が起こるのかを様々な観点から教えるためのブースをつくるべき。30 年後の夏の気候は〇〇度で、この島の生態系は…のように見る人が身近かつ、危機感を持てるような展示をつくる。
今度秩父に星空観察会に一泊二日で行くのですが、そういった他の地域と連携して自然と触れあえるツアーを企画し、その中の体験学習の一環とし て植林をしてみたり、環境を守る施設を見学したりして子供が楽しみながら学べるようにしてみると面白いと思います。学校や(安全そうな)ビルの 屋上で田植えや畑を作る体験をしたり、チームを組んでどの組が制限時間内にたくさんの市内のゴミを集められるか競う大会を行う。もうこの質問 の提案書をコンテストにして、市内の小中学校で時間をかけてグループで考えそれぞれ市民の前で発表する(投票制)。グランプリになったチームの 提案をそのまま市で行う。
有名なスマートフォン向け位置情報ゲームアプリとコラボする。実際のアプリをひらいた状態で同じように使ってもらう。さいたま市の何か所かに スポットを設置し、環境のことを少しでも伝えることができるようなキャラクターを作って捕まえたり、戦うことができるようにする。(理由)小さ な子供から大人まで使えるような身近なアプリとコラボすることで、楽しみながら環境のことを知る機会につながる。また、実際にどこかに足を運 ぶことを多くの人は面倒に感じるので間接的に参加することができるイベントの方がより多くの人が参加してくれると思ったから。
「地域復興とごみひろい」　ある特定の範囲を指定してその範囲内に落ちているごみを集める。集めたごみは本部(主催している団体の)に持ってい き、そこでポイントに変換してもらい、最終的にはそのポイントに応じて色々な景品と交換する。またその景品にはその地域特有のものを使って復 興に貢献する。
環境イベント内で、かわいいぬいぐるみのぬいぐるみ、かつ奇声を発するものを売り出す。SNSで、「地球の叫び」と題して、先程のぬいぐるみ(2匹 以上が好ましい)を動画内で叫ばせ、発叫。ちゃっかりイベントのリンクを貼っておく。もしパスしたら、ぬいぐるみ欲しさに、イベントに来てく れるでしょう。そこで、環境問題のことについて知ってもらうために超難しめのクイズをやってもらいましょう。そのクイズの景品として、ぬいぐ るみを買う権利を与えれば、転売対策もできます。
焼畑や森林伐採による自然の破壊、生態系の破壊、そしてそこから生まれる地球温暖化。これらを解決するためには、一つの方法があります。それ は、「木を植える」ことです。現在でもこういった活動は行われています。しかし、若年層を主にターゲットにしてイベントを開催することで若者 に自然の大切さを分からせることができます。よってこれをていあんします。
小さい子供を持つ家族の人向けに、年齢に応じて問題を作って、景品やその近くにキッチンカー的なものを出して、無料でもらえたり、食べられる ようにするとかなり土日とかに公園のあたりでやっていたら家族連れが来て沢山やってもらえると思います。これなら小さい子どもを持つ人以外も 年齢別でむずかしさを変えれば対応できると思います。
廃棄物で作られた製品や環境にやさしい食材でつくった食品を売る店をたくさん出してマーケットのようなイベントをやる→クリスマスマーケッ トとかでたくさん人が集まっているから。
環境破壊が進んだ未来で考える困り事の疑似体験ができるブース→理由：最悪な状況を身をもって体験できる。

提案内容
環境問題について考えるクイズラリーを実施し、環境にやさしい景品をプレゼントする企画をすることで、よりイベントが盛り上がると思いました。また、環境にやさしい小物を手作りする体験ブースを設けることで、より環境についてより深く学ぶことができると思いました。
テーマ：それ、ホントにゴミですか？ 身近にある普段すぐに捨ててしまうもの（牛乳等の紙パック、ペットボトル、野菜の不可食部）などの活用をポスターで提示。ポスターを製作するのは小・中高校生など学生を中心にに行い入場時に配布するパンフレットに投票券を付属させて、自分が面白いな、と思ったポスターの番号を書いて投票箱に入れてもらう。投票数の多いポスターの製作者の学生たちには、賞状と共に、何か景品を、参加者全員に、企業が実際行っている環境保護の取り組みをカンタンに見られるチラシをシールと一緒におく。〈理由〉自分たちの生活に結びついているという実感をえることが、環境保護を考えるいいきっかけになるのではないかと考えたから。
既存のさいたま市の博物館や美術館に新たに環境のブースを複数作る。（理由）…もちろん人が楽しめるような施設を作るのであれば、規模が大きい方がよいと思いますが、私が知っている限り、さいたま市に環境をテーマとしている施設はあまりないので、まずは地元の人たちが知っているような施設に新たに加えることで、「新しくできた場所を見に行く」というよりは「ついでに見に行く」というような感覚で人が見に来るようになるので、「環境についての施設」という様な堅苦しい先入観が無くなるから。
〈内容〉地域で行われるお祭りの前後にその場所のごみ拾いや整備を手伝う。手伝ってくれた方には屋台で使える割引券をプレゼント。〈理由〉ゴミ拾いなら小学生でも手伝うことができ、お祭りを地域の人全体で作り上げていくという士気を上げることに繋がると思う。また、他の地域から来る人々に良い印象を与え、地域の活性化にも役立つから。
〈アイデア〉環境問題風刺展。環境問題について扱った風刺画や映像作品の並んだブースを作り、ゆったりながめられるようにする。風刺画のプリントされたオシャレなエコバッグなどのグッズも取り扱う。〈理由〉絵や映像を用いて、風刺を込めることで、環境問題について分かりやすいだけでなく、面白く、なおかつ少しの危機感も与えながら伝えることができ、人々を行動に移しやすくさせることができると考えたから。
僕はSDGsの対策として、植物の展示会を開きたいです。現状として、エアコンの使い過ぎなどが地球温暖化の促進に繋がっていて、エアコンを使わなくても日光を遮ることができる緑のカーテンを普及することで、対策の手助けとなると思ったからです。主に展示会では、緑のカーテンに用いられる、様々な種類の植物を並べ、好みの色合い別で見ることができます。今の日本では、おしゃれをするというのが流行であり、この緑のカーテンと結び付けることで、楽しみながら、世界を守ることができるので、この企画を提案したいです。
地域の農作物を収穫するイベントを多くやってほしい。何度か参加したことがあるが、とても楽しい経験だったし、自分で収穫した野菜などを食べると楽しかった経験が記憶に残りやすく、地元の農家の人たちとの交流になるし、その土地のことを知れたり、もっと知りたいという思いが生まれると思うから。また、イベントの知らせをより多くの人に伝えるように学校でも配ってほしい。収穫体験は子供だけでなく大人も楽しめるものだから、多くの人にやってもらって地元の良さを知ってもらいたい。
小さな太陽光電池で動くおもちゃや置き物や、平和鳥のようなものや、光で物を動かすものだったり色々外部電力を使わずに動く物を展示する。左様の物は見ていて楽しいから、聞いたら少し寄ってみようかしら、と云う気に成ると思うから。然して其処から仕組みに興味湧いて環境に優しいエネルギーについて興味を持つかも知れない。
幼稚園や小学校低学年くらいの時期に小さな木を植える植林体験を行い、その後何年か経って子どもも木も大きくなったらそれを伐採して薪にしてキャンプをしたり、小物や雑貨を作ったりする。また、成長した子たちの希望者で遊具づくりなどをして小さい子が植林したときに遊べる場所を作る。1つの木が大きくなるのにどれぐらいの年月が必要なのか、普段何気なく使っている木製製品をつくるのにどれだけの人が関わりどれだけの手間がかかっているのかを身をもって体感し、自然の大切さ、尊さや日常の当たり前前に感謝する心を養う。
〔内容〕環境に配慮している建物や乗り物などを見つけたら、それを写真で撮って、その数が多くなればなるほど、豪華な景品をもらえるようになる子供限定のイベントを開催する。〔理由〕小さい子供はより良い景品をもらえるように、環境に配慮しているものを必死に探そうとする。その時に、身の回りの環境について今までより深く考えるようになると思ったから。
環境にやさしい製品などをつくっている会社の方々に集まってもらって、展示会を開く。例えば、いろいろな環境にやさしい飲み物の容器や食事のときに関わる日用品など身近な製品の展示会をしたら、環境への影響について身近に感じ、意識するようになると思う。
環境についての祭りを開く。屋台のように、環境にまつわるゲームをたくさん用意したり、人気の芸能人などに参加してもらって、環境について話してもらう。ゴミの分別や環境破壊について楽しく体験しながら環境について学べる祭りを開くのがいいと思う。〈理由〉地元の祭りの中に少し、環境に関する体験ができるスペースがあって楽しかったので大規模に開催すればいいなと思ったから。
最近の若者たちは、外に出たがらないという習性があるので、外でイベントをやるよりは、オンラインで参加できるイベントのほうが良いと思う。参加者は、とにかくたくさんで、早押しクイズをして（環境に対すること）1位の人には、賞金を与える。賞金があった方が本気になるだろうし、年齢の部で分ければもっとよいかもかもしれない。
VRなどで、まず汚れたさいたまの自然豊かなところを歩いてもらって、その後に本物の自然を体験してもらう。VR体験もできるし、想定でもいいから実際に緑が汚れているのをみることで、少しはこの自然を守りたいという気持ちになると思うから。ついでに出店なども出しておけば多少の収益は見込める。
〈内容〉さいたま市のなかで植林（かるい説明とかもしながらガイドつきで）〈理由〉少し危ないが、レジャー気分なので家族連れが楽しめると思うから。
独自のキャラクターや有名なキャラクターをマスコットにして、そのモチーフの会場にする。走ったり、ジャンプしたり、聞いたり、見たりだけでなく、体験型にする。参加賞か景品として、図書カード、プリペイドカードとかの実用性が高いものや、マスコットのグッズにする。〈りゆう〉子どもや中高生の注目を集めるには、人気のキャラクターとかなら来たいと思う人もでてくると思ったのと、図書カードとかプリペイドカードはもらったうれしいと思うから。
「テーマ：発電」〈内容〉色々な、自分がその場で発電できる発電機（様々な大きさ、形のもの、手回し発電機や、いっぱいこぐと発電できる自転車型発電機などなど）を用意し、1人1つ自分の使いたい発電機を選んで全力で発電し、そこで作った電気で誰が1番キラキラ輝くイルミネーションを完成させられるか対決する。〈理由〉見るだけ、聞くだけのイベントにしてしまうと興味を持つ人は本当に狭い範囲に絞られてしまうので体験型がいいなと思った。誰でも身近にある電気と結びつけられたらおもしろいのではないかと考えた。そこで、冬になると多くの人が集まる”イルミネーション”を自分の力でつくることで、楽しみつつ、日々、どれだけ多くの電気を使ってるか実感できると思った。
「テーマ：発電会」百万都市であるさいたま市。そこには、多くの人がいるわけであり、そこで彼らは、日常的に電気を使っているわけだ。しかし彼らは、電気のありがたみに気づいているのだろうか？いや気づいているはずがない。よし君たちには、今日、君たちが使う電気を君たちで発電してもらう…（理由）埼玉県は、火力や原子力を取り扱うことのできない立地、要するに電気を、他県からもらっているのだ。そのありがたみには、身をもって体感してもらう。例えば、人力でタービンを回したり、とかやったりする。参加賞は、乾電池単一形一本ですかね…
環境についてのクイズを色々な場所に提示して、あらかじめ配っておいだ解答用紙に答えを書いて本部の受けつけにもってきてもらい、正答数に応じて景品をわたす。イベントが一回入ったらなかなか抜け出せないものだ、イベントに行くことをためらう人もいるので、あくまで持ってきてくれたら景品を渡すというスタンスでいることで気軽にイベントに参加してもらえるとあったからです。

提案内容
1人当たりの光熱費が一定水準を下回ると、その家庭に光熱費の一部が返金されるシステムを作る。お金を1回とられて返金されれば、得した気になる。
環境について展示するだけでは興味がわかない人もいると思うので、リサイクルできるものなどを集め、それを活用してモノづくりをするというイベントを企画します。体験型のため気軽に参加することができ、環境について詳しく知らない子供でも少し環境に触れることができると思ったからです。私も以前小学生の頃に体験型のミュージアムに行き、自分はまだ環境や水、ガスについてよく知らなかったけれど、楽しく学べた経験があるため、色んな年代層の人が楽しく学べるイベントが良いと思います。
『フォトジェニック大賞』内容：イベント会場で撮った写真を1枚提出し、市民の投票で大賞を決める。ポイント：廃棄物や自然を生かしたオブジェや写真スポットを用意する。これを利用して撮影する。なぜこの企画を提案したかというと、若者がイベントに参加するには「映え」が大事だと思ったからです。また、小さい子も高齢の方も写真を撮ったり見たりして、無料で楽しめると思ったからです。そのうえ、リサイクルしたものを利用して環境にも優しいからです。企画側のメリットは、写真スポットを用意するだけで店などは必要がないから、労働人数を削減できることです。その分利益などが全く出ないため、オブジェなどの費用は市の負担が必要になると思います。
「テーマ：環境にやさしい発電方法で実際に発電体験！あなたは何W発電できるかな？」概要…地熱・水力・風力など、様々な環境にやさしいクリーンな発電方法について、それを模した簡易的な発電機を作り、イベントに来てくれた人に実際にやってもらう。1通り用意した全ての種類の発電機について、発電してもらったら、最終的に発電した総電流量に応じて、参加賞～S賞まで賞品がもらえる。理由…「環境」「発電」と聞くと、どうも自分とは関係ない、生活に直結はしてるけどイメージが湧かない、という人が多いと思う。このイベントで実際に参加者に発電してもらうことで、自ら発電のメカニズムが分かり、また発電量が分かることで、具体的に「これだけ環境に貢献した」と分かり、市民の環境問題への意識向上につながると思ったから。
電子ピアノをストリートピアノのように置いて、その横に自転車のような足でこぐタイプの発電機を置き、こいでいる間だけ弾けるようにする。さいたま新都心のストリートピアノの集客が多いため便乗する。ピアノが弾けない人も発電で参加できる。
リアルな迷路とその中に環境にまつわる情報を散りばめ、出口でその情報にまつわるクイズに正解できたらエコな景品をプレゼントする。迷路は子どもの興味を引くことができ、ゴールを目指しながら環境について楽しく学ぶことができと思うから。
〔内容〕会場などで、環境に関するクイズ大会を行い、入場特典でお菓子などを与える。クイズなどの形式はインターネットなどを使い、最近の流行りにもからませて、興味を引き、答え合わせの時は、自分たちが実感できるよう可視化された模型などに触れられるようにする。〔理由〕まず入って、損はないようにする。現代は情報化しているため、インターネットを使い、インターネットなどの使い方について学べるから。
ごみ拾い大会　ひろったゴミ100gにつきほうしゅうがごうかになるしくみで開催する。ごみをへらしながらひろったぶんだけ自分にいいものもらえるので、一石二鳥だから
「テーマ：植樹フェス」エコに関する商品を展示するイベント　参加者1人につき1本、木を植える。木を植えて空気をきれいにしたいから。
壁に穴を空け、そこに、ペットボトルキャップを投げて、入れられたらお菓子1個もらえる企画。ペットボトルは、そのまま、リサイクル。
〈子ども食堂〉中高生などの学生が家で食事ができない地域の子供のためにごはんを作ろう。4〜6人1組で応募してください！〈理由〉ごはんを作る大切さを知れるし、地域の食材についても知れるから！一石二鳥だから。
・環境にやさしいラーメンフェスティバル　数多くのラーメン専門店が集まるイベントなんですけど、器を環境にやさしいリサイクルされた器を使うというideaです。ラーメンはすごい人気だしついでに、環境に興味をもってもらえるのではと思う。
「テーマ：リサイクル製品を販売するイベント」ペットボトルなどをリサイクルしてできた製品を、クリスマスマーケットのように店を並べて販売するイベントです。お店の横に、どのようにして作られたのかや、どの位の量の資源をリサイクルしているのかななどの商品についての説明が書かれたパネルなどを置いておきます。このイベントを行うことで、来場者にリサイクルについての知識を深めてもらうことができます。そうすれば、今までごみとして集められていた物を資源として集めることができ、ごみを減らすことにつながります。
アルミホイルを使った太陽光エネルギーで調理するフライパンを作ってお料理教室。エコでいいと思いました。
「テーマ：一番環境にやさしく地球を一周するには」いろいろな乗り物をつかって1ヶ月以内に一番排出するCO2が少なくなるようにして地球を一周する方法を考える。乗り物は環境に悪いという考えが多いので、どんな乗り物なら1ヶ月以内にもっとも効率よく、かつCO2を排出する量を少なくして移動できるかを考える。
捨てられたプラスチックからものをつくっている会社の工場見学。リサイクルの大切さを学べるから。
環境保護シミュレーターゲームを探す、もしくはプログラムして遊んでもらう。環境保護をスコア形式で競ってもらい、優勝者にはエコ製品をおくり、希望する人は市の公式SNS（旧ツイッター等）に記念写真を投稿。退場案内のときに、ゲームを遊ぶコンピュータに使ったソーラーパネルを見せてみる。　コンピューターゲームなら子どもや若者も興味を引きやすく、景品を決めることで楽しく体験できる。情報社会の現代でSNSの拡散力はすさまじく、載った人もそのことを喜ぶかもしれない。また、身をもって体験したあとの、その設備についての説明は、より聞き入ることができるだろう。
「テーマ：環境に優しいコスメ」リサイクルできる素材を使用したコスメをつくる！貝殻などを粉々にして入れ物などをつくったり、果汁を使用したリップなどをつくる！
皆のいらなくなった物を使って新しく使えるものに作りかえる。事前に集めた使わなくなったものをみんなで作りかえることでリユースできる。→自分たちが使わなくなったいらないものも、他の人が欲しくなる別のものにつくりかえることで再利用でき、ゴミを減らすきっかけになるから。小さな子から大人まで楽しめると思ったから。

提案内容
「テーマ：SDGs」SDGs関連の仕事や会社の所に工場見学に行く→実際に体験できる所は、体験させてもらう。Ex) 木を植える、水質の調査
「テーマ：あまったペットボトルで芸術作品を作ろう」参加者が集まって、さいたま市で捨てられるであろうペットボトルのゴミを使って1つの大きな芸術作品を作る。 ゴミをムダにしないためエコでさいたま市のためになると思うから。
模型や具体的なグラフ等の展示 環境破壊が続いた結果起こりうる変化（食事などの身近なことも）や悪化させないための技術（例えば郵便局のEVバイク等）を展示 具体的な物がなければ他人事のようにになってしまうから。
5〜7人のグループをいくつかつくて、グループごとに市内にあるゴミを拾ったり、雑草を抜くなどして街をきれいにする。ゴミなどを拾えば拾うほどエコバッグなどの景品がもらえる。（理由）景品のようなものがあれば、人々がやる気をもって参加すると思ったから。地域はキレイになるし、参加した人は景品をもらえてWin-winだから。
「世界に一つだけのエコバッグをつくろう」というイベントを提案します。今、世界ではプラスチック問題が深刻になっています。その原因になっているのがビニール袋だと考えています。プラスチック削減のためにも、エコバッグを持ち歩くべきです。なので、自分オリジナルのバッグを作ることで、楽しむことができ、環境にも良いと思います。
「テーマ：ワッショイ！」 廃食用油を持ち寄っての石けんづくり。理由：昔は石けんを始めとする多くのものを自作していた。最近は災害対策みたいなことも話題になっているので理科×歴史の勉強やサバイバル要素でけっこう人が集まると思う。
「テーマ：環境にやさしくするには」演劇を発表する（いろんな高校の演劇部でやる）（テーマ：環境問題について、セットには環境にやさしいリサイクルしたものを散りばめる）演劇部の高校生とも交流でき、同年代の人も高校生の劇だと見に行きやすいから。
〈内容〉マイボトルをつくろう！参加した人にタンブラーを配布し、その場で飾りつけてもらい、マイボトルとして使ってもらう。〈理由〉マイボトルを持ち歩くことで、ペットボトル等のごみの削減につながると考えたから。
発電の体験ブース。自転車等で一定量を発電するまでのタイムを競うレースを開催する。目に見えないエネルギーを体感することで、エネルギーの節約への意識が湧くかもしれないので、体を使ってエネルギーを感じてもらう。
「環境にやさしいって???」環境問題に対する誤解をなくそう！！→みんなでクイズをする。→意外な環境保護の例を紹介&体験
「テーマ：クラフトで思い出を形に残そう！！」木を切る時にでた木片や木を伐採するときに出た小枝、落ちてしまったどんぐりや木の実を組み合わせせて写真立てを作る。理由…使い道のない小さい木や小枝、どんぐり、木の実なども見方を変えて工夫すれば自分にとって大切なものになるということが学べるから。
地産地消の食材を使ったフードコート（オーガニック食材も）理由：フードロスの削減
「カーテンを開けようイベント」主に小中高等学校で行う取り組み。近年、紫外線等を気にする人が増える一方で、日光を恐れて日を浴びず、生活リズムが崩れる人も多くなっていると思う。①各教室に太陽光パネルとセンサーを使った装置を設置し、毎日最大10分まで太陽ポイントを貯めれる。（1分で1ポイント）②250ポイントまで貯めるとほめられる。
臨時イベントとして野外にトレーニングジムを作り、さいたま市中の筋肉自慢やダイエットしたい女性などを集め、フィットネスバイク等で発電する。〈理由〉最近筋トレがブームらしいのと、友達が筋肉好きだから。
「テーマ：リサイクルクラフト！！」川や海、森などに捨てられていたペットボトルなどを使ってエコな工作をする。捨てられていたものを使うことで物を捨ててはいけない、環境への害を知るなど、良い環境作りができるようになると思ったから。
「テーマ：よりよい発電方法を考案する」環境に優しい新しい発電方法をテーマにコンテストを開き、ユニークなアイディアに賞を与える。競技にすることで参加者のモチベーションを保ちつつ、環境問題を考えるきっかけになるから。また、テーマが難しすぎず、参加するハードルが高くないから。
クイズで勝ったらエコバッグ
「テーマ：川そうじグランプリ」川そうじでゴミを拾った数を来た人で競う。10人参加し、2人1チームで競う。ゴミの大きさにポイントを決め、一番ポイントをかせげたチームがかち。制限時間は1時間。1番のチームには環境にやさしいグッズをプレゼント。理由：ゲーム感覚で川をそうじすることができるから、小さい子も勝負なら参加すると思ったから。
・規格外、売れ残りなどで捨てられる食材で作った料理の屋台を出す・リサイクルされたものの作品展、売店・環境についてのクイズ大会や劇（普段の生活の中でもったいないと思われる箇所の解説とか） 通りがかった人でも足を止めてくれそうだったから。「お祭り」にすることで参加する人が多くなると思ったから。
スタンプラリーで自然が多いところや施設をまわれるイベント。小さい子どもたちが楽しく自然とふれ合うことができると思うから。
内容：海の生き物（カメやクラゲなど）の紙芝居を通して、海の大切さや、プラスチックゴミなどの問題点について学ぶ。理由：海の生き物なら子どもたちが好きな生き物が多く、親しみやすいと思った。また、その好きな生き物についての問題点であれば、子どもでも理解しやすく、考えやすいと思ったから。
「テーマ：クイズ」クイズで勝ったらエコバッグ

提案内容
カードゲームを用いて、SDGsとこれからの社会のあり方、または環境のあり方などについて学ぶというイベント。今、「カードゲーム」がとても流行しています。小さな子どもから大人まで楽しむことのできるカードゲームも増えています。このイベントでは、今流行しているカードゲームを用いて、幅広い世代の人々を集める、かつ、現在の環境と社会のあり方の関係性について学んでいきます。カードゲームを軸とすることでゲーム感覚で楽しむことができます。例えば、あるカードには現在の環境問題が描かれており、相手のカードゲームには解決策がいくつか描かれています。その他にもアイテムなどが書かれたカードを用いたりして2つのカードを組み合わせていきます。1番のポイントとしてはこの組み合わせには答えが1つとは限らないので1人1人の自由な発想を引き出せます。
「テーマ：環境トレジャーハンター」 広い公園の中で宝探しをする。配られる謎解き（もちろん環境に関連する問題）を解くと宝箱の場所が分かるようにして、宝箱の中には「〇〇の欠片」のように複数個集めると何かに出来上がるような仕組みにする。⇒問題を複数用意し、それらすべてを解き終わったら係の人に目せに行くみたいな。正解していたら、環境に関するモノ作り体験ができる。（古着でエコバッグ作り…色塗りも含め、余っている木の破片でキーホルダー作りとか）制限時間は設けない。環境のことを知りながら、自然環境にも触れることができる。
さいたま市内の公共施設（図書館や市民ホールなど）でスタンプラリーを開催。各スタンプラリーの場所には、その施設が環境のためにしていることについての説明コーナーがあり、その施設の取り組みを知ることができる。理由：様々な場所にいくことで、環境に対する市の取り組みを知ることができ、体験者が環境について考えさせられると思ったから。
「ミニチュア・エコタウン」内容：ミニチュアで埼玉の地域（大宮、浦和～熊谷、秩父）を再現。その後ゴミ問題や酸性雨などの要素を加えて、街に潜む環境問題を一目見てわかるようにする。また体験型にしてみる。例えばレバーを引いたら「工場のえんもつからガスが出てきて、酸性雨が降って木が枯れる」のように、何らかのアクションを加えてミニチュアが変化することでインタラクティブで楽しくなると思う（酸性雨は例で、埼玉に、もっといえば大宮や秩父などの特定の地域に関わりのある環境問題の要素を加えたら分かりやすい）。プラス、理想の街をつくるとなおいかもしれない。理由：大人も子供もミニチュアを楽しみながら立体的に環境問題が理解できるから。
市を巡ってシールをもらおう。さいたま市内のあちこちにいる人のところへ行って環境に関する話を聞いたり体験したりした後にシールを貼ってもらう。シールの数に応じて、お菓子や記念品等を配布。理由：巡ることでさいたま市の環境を知ったり、体験したりすることができる上、お菓子や記念品（シールや記念品はずっと心に残るから）目当てで参加する子供達が増えると思ったから。
「テーマ：特産品を使った、フードフェスティバル」その県で盛んに生産されるものを用いた、フードフェスティバルを行えば、それが開催される日に行けば有名なものを簡単に食べられる、かつ、短時間で旅行者は済ませられ、他の時間を違うことにあてられるから。
ソーラーおもちゃ作り 太陽光の力で稼働するおもちゃ（ソーラーカー、ガン）などを制作する。部品もリサイクルでできたものを使い、リサイクルにも興味をもってもらう。
世界にはいろんな環境がある事を知れると良いと思います。その地域の環境はどんな建築物があるかで分かります。ここで言う環境とは、「気候」の意味に近いものです。たとえば日干しレンガでできた白い建物なら乾燥した砂漠でその土地の素材で建てたのかと想像できます。私はこの世界の人々の暮らしと気候がどう関わっているのか、その地の建物の簡単な模型を工作で作る体験型学習があると良いと思います。「環境」というテーマに対して、「CO2を増やさないためには」といった「なにかをしない」という視点からアプローチするのではなく、もっと環境とは楽しくて興味深いものであり、なにも問題ばかり抱えているものではないということを伝えたいです。
ペットボトルキャップでキーホルダーやコースターなどを自作するイベント。ペットボトルキャップを用いて作品を自作することにより、再利用の素晴らしさや、簡単に再利用できるという認識が特に子どもを対象に身をもって実感しやすいから。キーホルダーやコースターを用いることによって、日頃からリサイクルについて考えやすいから。
ペットボトル×アート アーティストが作ったペットボトルの作品を展示、体験コーナーで実際に作ってみる。（理由）近年、ポイ捨てされるペットボトルが多いが、芸術作品にもなれることを知ってもらおうと思ったから。また、自分で作品を作ってペットボトルのポイ捨てが減るといいなと思ったから。
さいたま市環境検定にチャレンジ 環境問題にまつわる検定にチャレンジし、得点ごとに環境にやさしい、配慮されたグッズを配布する。理由：「検定」となると興味を持ち、やる気が上がると思ったため。
ペットボトルのキャップを使ったアートをみんなで作る！様々な色があり、組み合わせて使うことで芸術作品になると思うから。来場者はキャップを複数個持参してもらい、その場で作る→駅などの公共交通機関に展示できたらいいと思う。
・著名なキャラクターとコラボした環境体験会やクイズの実施→普段、環境のイベントに行かない人も興味をもってくれそうだから。 ・環境に良い材料を用いたフォトスポットやイルミネーションなどの設置→SNSなどで話題になれば若い人にも学んでもらえる。
「テーマ：SDGsの大会」企業がSDGsを利用した店とかを出して競い合う。食べ物のやつもあるから。
参加賞があるSDGsの講座。参加賞があれば来る人も増えて、みんなで学ぶことができると思ったから。SDGsが重要視されているから大事だと思った。
・公園掃除イベント→景品などをつければ、小さい子どもなどもとりくみやすくなると思う。また、”公園”を利用している人は意外と多いと思うので、人があつまりそう。
地域の方とかかわれるイベント 地域とのつながりが強くなればお互いに良いと思うから。
環境神経衰弱 楽しくできて、環境のことを知ることができるから
スタンプラリーを作る。楽しそうだから。

提案内容
クイズ 環境のことを知ることができるから
人気のキャラクターやマンガとコラボしたクイズ大会、トークショー 子どもにも簡単に環境問題について伝えられるから。若者が興味をもちやすいから。
～環境フェスティバル～・環境にやさしい製品の販売などをする。・環境、SDGsにまつわる知識のゲームをする。～理由～・製品を見たり、ゲームをしたりしたら、環境のことを考えるきっかけが出来ると思うから。
ゴミで問題になっている地域の近隣の高校生でそうじする。自分たちの住んでいるところの環境への悪影響を知り、意識を高めるため。
大宮駅など人通りが多くアクセスしやすいところで参加賞（お菓子など）をつけて環境クイズをする。
家庭から出た食用廃棄油でキャンドルをつくる。→食料廃棄についてたのしく学べる
おにごっこなど遊び形式でのイベント。小さい子などは環境と言われてもあまりピンとこないと思い、小さい子でも楽しく環境ということを知ることができたほうがよいと思うから。
食品ロスを減らす重要さを伝える。一番身近で、知っておくと、すぐに役立つから。
環境についての正しい知識を問うビンゴ大会。理由・楽しく学ぶことができるから。
体験型のイベントを作る。そのほうが実感も湧いて楽しそうだから。
環境検定のようなものをつくり、合格したら、なにか景品をあげる。
水質についてのイベントは興味があります。環境問題の1つとして水質があります。水はどうやったらきれいになるのか、普段あたりまえにある水道水はどこからどのような方法できれいにされて家に来るのか、身近な内容だと思うので、小さい子供たちも興味を持ってくれると思います。環境問題として、地球温暖化がありますが、まずは身近な水について学べるイベントがあれば、多くの人にとって良い機会だと思います。
地球温暖化の主要な原因を産業別までで解説し、また温暖化の影響についてより詳細な話をする。理由として、温暖化の中で畜産の中でも牛などによる家畜の問題を知っている人がほとんどいないから。また温暖化の影響が海面上昇による一部地域の水没とか災害が増えるくらいしか知らず、それにともなう資源の減少や戦争の増加等についてほとんど触れないから。さらに温暖化対策のための電気自動車のためのリチウムを取るため環境破壊が行われ、さらには電気自動車のための電気を化石燃料から作っている等の実情を理解している人がほとんどいないから。
内容、さいたま市環境クイズ&スタンプラリー開催！環境に関するクイズとスタンプが設置できるところをさいたま市各所に用意し、クイズに正解すると、スタンプがもらえて、スタンプが貯まったら、環境にやさしいグッズをプレゼント！理由、クイズ形式にすることで楽しく環境を学べ、さいたま市に住んでいる人なら、手軽に参加できると思うから。
「環境に気を使った屋台」夏祭りなどの屋台の中に、太陽光などを使って料理する屋台を作る。そして、その屋台で体験型で講演を交えつつ、みんなで料理を作って食べることで、環境への大切さを子どもに教えつつ、料理のおいしさなどを伝えて一石二鳥になると教える。
環境問題についてのテーマを用意し、そのテーマについて何人かのグループでどうしたら良いかの意見交換をする。終わったら、リサイクルしてつくられた製品を見てみたり、再生紙で工作したりする。そうしたら、環境問題を身近に感じることができると思うから。
ゲーム形式の体を動かせるプログラムを組み込む 実際行きたい場所まで運動できる
環境にかんれんする何かをつくって、それをてんじする。そしてとうひょうで一番良いもの(おもしろいもの)を決める。ものづくりが好きな人が参加するだろうし、見るのもたのしいだろうし、環境についてのちしきが深まると思ったから。
(内容)エコな家を考える 自分の家でもできるような、環境に優しい工夫をグループなどで出し合って、それを詰め込んだ一番エコな家を考える。(理由)自分たちで活動をした方が身近に感じてもらえると思ったので、話し合ってもらいたかったから。また、家について考えることで、イベント後すぐに参加者が実践できると考えたから。簡単に紙にまとめてもらって掲示などをすれば、グループ外の工夫も取り入れることもできるので、最終的にイベント全体で出た工夫を集めて、より良いエコな家を考えても良いと思った。
地球温暖化のメカニズムを視覚的にわかりやすく説明するイベントをする。理由はインターネットなどで間違った情報を得ている人や、そもそもメカニズムを知らない人が、正しい情報を分かりやすく得ることができ、そこから地球温暖化の対策などを自分で考えられるようになるから。
展示会を行って、そこで環境に関するものを展示したり説明すればいいと思う。(無料で)そうすることで誰かしら環境に対して興味をもつと思うから。入場料無料だと参加する人も増えると思う。特に学生。

提案内容
2〜7人のグループを数個作り、ふくろを持って5分間にどのグループか1番多くゴミを集めることができたかを競う。参加賞があり、1〜3位のグループには特別な景品も。(理由)みんなで競い合うことで、たくさんゴミを集めようと思うだろうから。
(内容)身近な環境に優しいと開発されている製品を展示し、それを体験していくごとに1つのスタンプがもらえる。すべてのスタンプが集まったら、展示していたような環境グッズ(記念品)をプレゼントする。(理由)スタンプラリーがあれば子供も参加しやすい、環境に関して新しい発見があるかもしれないから。
市内の川について、(そこに生息している生き物や、水のきれいさとか)の展示などをしたら良いと思う。理由は、学校の近くに川があるが、あまり、その川について知らないから。
最先端の技術をつめこんだ未来の環境に優しい家のモデルなどを展示し、自由に中を見て回れるようにする。機器のしくみなどが、目で見てわかるようになっていると楽しいと思う。(たとえば中身がすべて見えるようになってる家電とか)科学博物館と連携したら体験型が面白いと思う。
自分で古紙から紙を作る。乾かした紙に絵の具などで色をぬったり絵をかいいたりしてオリジナルの作品をつくる。
(内容)地球温暖化が進んでしまったら、今後地球の環境がどうなってしまうのか、どういう影響があるのか講義。このまま何も対策もしなかった時、どのくらいの温度になるのかの体験ブース。(理由)この方が「こうなりたくない」から対策を立てようとなれると思ったから。
(提案)環境に対し、有名でコミカルなキャラクターを用い(そのキャラクターの著作権元と協力して)なるべくわかりやすく説明できるようにする。説明したいことをブースごとに分け、ブースごとにまわり終えたら、キャラクターと環境に関連するものを配布する。(一部商品は物販という風にするのもありかもしれない)物販目的でくる客層も一定数はいる。(理由)日本赤十字社が夏のコミックマーケットでこれと似たような方法を使ってかなりの量の献血をしてもらっていること。「環境」だけかたかくしく説明されても子供達には何も入らないし、ただ「つまんねー」だけで終わる。企画として説明だけでなく実際に具体的な物と結び付けて、それを覚えてもらうことが大切。
海の中に入ってみよう！入場者、団体で、3DメガネやVRのようなものを配布し実際に海の中にいるような状況から、海における環境問題、課題について知り、改善策をみんなで考える。
ソーラーパネル製造見学：内部構造が面白そう。
「エコ」な材料で〇〇作っちゃおう！ この後捨ててしまうもの、もうつかえない物、そんなものたちを持ち寄ってみんなで集まる。1つのテーマを発表し、それに合うものを持ち寄ったものを使ってそれぞれ作る。例えば「クリスマス」というテーマだったら持ってきたものを組み合わせてオーナメントを作るなど。(理由)その場でお題を発表することで、色々なエコ材料が集まるため、さまざまな種類のものを再利用できるから。ただのハンドメイドよりも難しそうで工夫がたくさん生まれそうだから。
別所沼公園や大宮公園で、環境イベントを行う！ 上記のような2つの公園は、平日休日を問わず県内外からたくさんの年代の人が多く来ます。最初から若者がいる場所でイベントを行うことで、他の場所で行うよりも多くの若者の参加が期待されます。また、2つとも自然豊かな公園であるため、環境イベントの内容が自然と頭に入ってくると考えました。また、主な内容ですが、公園にあるたくさんの木を使って環境保護や地球温暖化対策が行われることを、実際の木を見ながら説明することでより内容をじっくり考えたりする機会になると思います。補足ですが、公園に落ちているどんぐりやまつぼっくりを使って作ったキーホルダーなどを参加者にプレゼントすると喜んでもらえると思います。
タイトル「リサイクルしたらどうなるの？」 内容と理由：私たちが普段捨てているゴミがその後どうなるのかを、職員さんの案内のもと、リサイクル工場で学ぶ。また、来てくれたお礼として、参加者に、そのリサイクルされた商品(バッグとか?)をプレゼントする。リサイクルの重要性や大切さについて学べ、「リサイクル」という言葉が、より身近で、実感の湧きやすいものになると思ったから。
ゴーヤの苗の配布 エアコンの使う頻度を減らすため
ペダルをこぐと電気がたまる自転車、こぐと電気がたまるブランコを用いて、電力をためる。ゲージが見れるメーターを大きく表示して、電力がいかに大切であるのか知る。見た目もおもしろそうだから、子どもから大人まで興味をもてると思う。電力のほかにも、気温が一度上がると体感的にどれぐらいなのか感じられる施設や、環境破壊による影響を小さい子どもでも分かるような動画にして、見れる場所があってもいいと思う。
(内容)地域の食材を使ったご飯づくり体験 (理由)地産地消につながり、体験したものがよかったら、家でも作ってくれて、家族などの関係もよくなると思ったから。
環境に悪影響がない肥料やエネルギーのみをつかってつくられた食べ物やゲームなどを屋台形式ですること。祭りは多くの人であふれかえっているのをよくみかけるし、気軽に参加しやすいと思うから、もともと環境について興味ある人に向けたものではなく、あまり興味がない人向けのもの、少しでも多くの人が環境について考えることが解決につながると思うから。
地球温暖化に対して何が出来るか考える。考えたことを実践する。
子供達が進んでボランティア活動に参加する習慣をつけれるように、地域で祭りや行事などを開き、その参加条件として、環境活動に参加することというのを設けて、その子供やついでにその家族もみんなまとめて環境活動に参加させようとする
私がやってみたいイベントは「アップサイクルファッションショー」です。内容としては、参加者全員で古着や廃材を利用してオリジナルの洋服やアクセサリを作成します。完成した作品を自分のオリジナリティを出しながらファッションショーなどを行い、披露するイベントです。アップサイクルの重要性が伝わりやすく良いイベントだと思います。行おうと思った理由はファッションという身近で中高生が興味を持ちやすいトピックなら参加者が増えるかなって思ったからです。
廃棄される予定であった資材を使っのDIY教室 廃棄予定のものには何があるのかについて知るによってこれから先、捨てる時、一度立ち止まってまだ使えるのではないかと考えるきっかけになるのではないかと思ったから。(例)ペットボトルを使ってキャンドルを使ってみる 教科書でブックマークを作ってみる マグネットを使ってフックを作ってみよう

提案内容
環境にやさしいものとそうでないものがまざった箱から環境にやさしいと思うものを選び、宝探し感覚でどのようなものが環境に良いのかを知ってもらうと良いと思います。また、宝探しの参加賞として環境に良いものをプレゼントするのはどうでしょうか。どのようなものが環境に良いのか考えることで、反対にどのようなもの、行為が環境に悪いのかもわかるかもしれないので、このような提案をしました。
地域のゴミ拾いイベントを開催する。グループの部や個人の部をつくって多く拾えた人に環境にやさしいグッズや、その地域で使える商品券をプレゼントするようにすれば、グッズや商品券を目当てにした人々も参加してもらえるし、地域の人たちとも関わりを持って、地域が活性化するという。
大人から老人まで向けの環境説明会 環境についての専門家(正しい考えの人)を呼んで前で講義しているのを聞いてレポートにまとめよう！(理由)環境をまじめに考えるなら子供にスタンプなんてさせてもいみがないクイズをしても忘れる。大人が環境問題を知らないのは論外なのでぜひ知ってもらいたい。もし良いレポートを出せたらプレゼントあげちゃう。
エコなものを買ったポイントがたまりそれが日用品だと交換できるようにする 理由、ゴミを減らすことで環境問題の一つが解消される上に鉄道会社が行っているポイントカードのようなものをつくることでエコなものを買うようになると思うし市民はそのポイントを使い日用品などを買えたらwinwinの関係になれると思うからです。
環境に関するゲームなどを作り、みんなで遊びながら学べるイベントにする。(理由)子供はあまり環境問題に興味がなく、わざわざ休日を無駄にしてまで行く必要はないと思うので、ゲームにすることで子供達が楽しめるようになり、来てもらうことができるから。
再生紙や自然由来のあらゆるものをふんだんに使って昼と夜で見方が変わるようなイルミネーションやアートをつくる。それぞれが自然由来だからこぞできるような、長所を生かしたものにします。最近はこのような観光スポットは若者を中心に人気があるため、そこで環境保護を広めることができると思った。良い観光名所となって注目されることをいっています(?)
「ご当地キャラクターと環境について考えよう！」自転車発電機など体験できるものや簡単なクイズラリーがある、個人でもグループでも参加できて参加した人、全員がご当地キャラクターのグッズをもらえる。 理由 ご当地キャラクターのグッズがもらえるなら行きたいと思うし、クイズラリーは大人から子供まで楽しめると思ったから。
ごみ拾い大会。環境に悪そうなものから順に大きなポイントを与えていき、そのポイントをどれだけかせげるかきそう。きそうことによって向上心が上がると思うから。参加賞や上位者には景品を与える。若者を集めたいなら流行りのものを景品にしたりする。
地域のゴミひろいや、川の清掃を企画し、そこで拾ったごみの総量を競い合い、1番多く拾った人に商品券などを渡す。年代別にして、不公平にならないようにする。自身の町をきれいにするだけでなく、そこで生まれるコミュニケーションによって、あたたかい町を作る事にもつながる。
地域でゴミひろいのイベントを開催して参加してくれた人にスーパーの割引券を渡す。理由 自分の住んでいる地域をきれいに保とうという意識を持たせることができる。また、地域のイベントを開くことで地域全体の人たちとの交流が生まれ、あたたかい街を目指す。
さいたま市学生環境イベントの開催。学生がさいたま市の環境の問題について考えをまとめ、さいたま市役所の職員とともにさいたま市の環境について考えを深めるイベントです。定期的に講習会などを開き、地域の人々に考えを広めていく。さいたま市在住の学生が自分で住む地域について調べるなどすることで、良くない状況への危機感を強めることができる。参加賞はシール！！
幼稚園児や小学生を対象とした環境(SDGsなど)について学びながら楽しめる運動会を開催すると良いと思います。内容としては、SDGsに関連した借物競争を行ったり、親子で楽しめる企画を計画したりと運動会もとききたいのを開催すると盛り上がるし良いと思います。また運動会と聞くとみんなで協力し盛り上がるイメージが子供たちにあると思うので自然と人がイベントに集まり多くの子どもたちに環境を理解する機会が設けられると思います。
私が行ってみたい環境イベントは、ゴミを使って芸術作品をつくるというようなものです。ペットボトルのキャップで彫刻を作ってる人とか捨てられたスマホケースでドレスをデザインした人とかいます。みんなでいらないプラスチックから金属まで、いろんな資源からなるゴミを集めて何か大きいものにしたらおもしろいと思いました。埼玉のマスコットを彫刻するのもアリだと思います。そしたら市役所前かどこかに飾ります。個人が作品をつくってもいいけれど、持ち帰っても捨てる可能性が高いので、町に飾るものをつくるのがいいと思います。
農家とスタンプラリー 農家さんの畑や果樹園に、スタンプ台を置き、収穫するとスタンプを押すようにする。そうすることで、参加者は収穫イベントを楽しめるし、自然に興味を示す人が増える。 スタンプを集めたら、さいたま市名物の食品をプレゼントする形にする。
・売れ残りや規格外のものを使ってみんなで料理をして、屋台をつくる もったいない食べ物を減らせる。お祭りみたいで楽しめる。 ・迷路…(キーワードを集めたり、クイズに答えないとゴールできない) 学びながら迷路を楽しむ。
3日間森の中ですごすことで木がいかに大切な物かを教え、環境保全がいかにすばらしく、正しい行いなのかを示すことで、環境問題について考える自分がとてもすばらしいと理解させ自己肯定感を上げる。
ぼくは河川付近や、自然がある所で環境イベントを企画したほうがいいと思いました。なぜなら、自然が多いところでは子どもたちや、大人たちが、自然のことにについて学べるし、ごみ拾いなどをして、きれいにしてもっと詳しく楽しく自然について学べるし、きれいにもなるので自然の多いところで、ごみ拾いしたらいいと思います。
ライブ会場や、スポーツのイベント会場で、さいたま市の環境ブースを設置して、アンケートやイベントに参加してくれた人に対してプレゼントを与える。 〈理由〉さいたま市には、さいたまスーパーアリーナや埼玉スタジアム2002、NACK5スタジアムなど、ライブ会場やスポーツの会場がたくさんある。ライブや試合など、多くの人々が来場するイベントに参加してくれた人対象に、当日ライブをするアーティストや試合を行うチームとコラボした限定グッズ(缶バッジやステッカー、マグネット)などをプレゼントすることで、多くの人にブースにきてもらい、環境についてもっと知ってもらえる。
埼玉県にある風車の解体現場を見学できるイベントをつくる。環境に関心を持ってもらうためには、環境問題を体験できるブースや楽しく参加できるイベントも良いが、中高生には現場で環境のために働く人々の姿を見て将来について考えるきっかけになると思ったから。私はこのように思いました。
さいのくにみどりのプロジェクトをしたいです。おおみやのたかしまやとさいたまスーパーアリーナとうらわのばるこにみどりのカーテンをかけたらいとおもいます。なぜなら、さんそがふえて、みんながきもちよくすごせるからです。さんかしたひとはシールをあげたらいいとおもいます。

提案内容
地球温暖化によって永久凍土がとけ、海面が上昇したことによって沈みそうになっている太平洋の国々の国民の気持ちを体験することによって、今まで実感がわいていなかった地球温暖化の恐ろしさを再認識し、環境を守るために何かしようという気持ちを高めることができる。
ガソリン車を持って来たら、電気自動車と無料で交換！ 理由…ガソリンは地球に悪く、早急に電気自動車に交換することで、地球をよりクリーンにすることがエッセンシャルです。自動車の普及率が高い埼玉では、このような活動が功を奏することは、間違いのないでしょう。
海でごみ拾いをする。プラスチックを集める。集めたゴミを使っていろんなものをつくる。それをどこかに支給する。昨今、プラスチックのごみが海に捨てられ、分解されずに残ってしまうことで生態系をおびやかすものになっているため、その実態を肌身で感じられたらと思うから。
さいたまスーパーアリーナの大きい会場みたいな所を借りて、行ったら入場者プレゼントを渡して環境に対する対策をしている会社を招待して大きいイベントみたいに開く。 理由…大きいところでやったほうが人もくるし、影響力もおおきくなると思うから
災害の体験 ・津波や地震などの災害を体験できる。災害の恐ろしさが分かる ・スタンブラリーがある。スタンブラリーがあると楽しめる ・リサイクルをしてみる。実際にリサイクルすることができる
ごみ拾いイベントをする。ごみの集めた重量で景品や現金への交換を可能にする。 理由：ごみを拾うことできれいな場所じゃなく日頃、目の届かないところにも目が届き、実際の自分の街を知ることでもできるのでこれを機に他の社会問題を知ることができるかもしれないから。
さいたま市内のホテルと提携し、紙ストローの使用など環境に優しい活動に同意した宿泊者や利用者にデザート一品追加などのサービスをするなどの手軽に参加できるイベントなどがあったら、さいたま市民以外にも気軽に環境イベントに参加できていいと思います。
さいたま新都心のショッピングモールの屋上に埼玉県の特産品である、こまつな、ほうれんそう、長ネギを育てる。収穫できた農作物は子供食堂に提供したりする。1人あたり1000円の参加費にする。子供たちに農家という職業をすすめる。未来の一次産業を担う人々を育成する。
環境町さんぽ 環境問題にとり組んでいる会社や、自然がたくさんあるスポットを回ればポイントがたまるアプリをつくってポイントがたまればさいたま市内でつかえる買い物ポイントと交換。 理由 アプリなら手軽に始められて、勉強にもなるし、運動不足も解消されて良いと思った。
ゲームのキャラクターとコラボする このようなイベントで難しいのは、いかに子供に行きたいか興味を引かせるかが問題だと思います。なので、子供が知っているキャラクターとコラボすることによって子供に行きたいと思わせて環境のことをより一層理解してもらいたいと思います。
紙を使っていくことで木が減り、地球温暖化や洪水が起きるので、紙の消費量を減らすべきである。そこで公園や街頭に樹木作ったり、紙を使わない家や生活必需品を展示し、環境問題について考えさせる必要がある。
環境イベントといっても環境イベントに興味を持っている人や環境イベントに興味を持っていない人もいるかもしれないけど、私なりに考えた結果、実際に環境に関するよいことを実践してみようというイベントを実施すれば、楽しく参加できるのではないかなと思う。例を挙げると木を切ってみたり、酸素を排出してみれば、良いのではないかなと思いました。
「身の周りの新しい食料を見つけよう！！」 内容…我々の身の周りにある食べられなさそうだけど、実は食べられるものを探すイベントです。昆虫をはじめとし、雑草や他の植物、コケなど色々なものを食べれるか検証し、将来の食糧難にそなえよう！というイベントです。
アニメのキャラクターとコラボする→環境イベントにあまり興味はないが、「アニメとコラボするなら行く」と思う人も一定数いるから。環境に配慮した（レジ袋もらわないなど）活動をしたら加盟店でスタンプをもらえる。スタンプの数に応じて区役所や市役所などで景品と交換できる。
でかい体験ブースをよういして楽しくする。ブースごとにポイントをせっていして全員でゴミ拾いをしてポイントをきそいあって上位入賞者にはけいひんをあげる。より楽しくボランティア活動ができるようになる。
様々な食べ物のフェスをやる時に、発電できる自転車で一定の電気の量を蓄えることができれば安い値段でフェスの食べ物が食べることができる。 <理由>食べ物フェスだったら、色々な人がいっぱい来るし、そのなかで、イベントに参加してくれる人がいると思ったから。あと、フェスに来たときにあまりお腹がすいていなくとも自転車が発電することで、お腹を空かせてより食べ物フェスも楽しくなると思ったから。
祭りに組み込む。 そもそも環境イベントが独立して開催されたところで、関心はほぼ集まらないと考えられるし、認知している人も少ないと考えられる。そのため、なんらかのイベントに従属する形で開催しなければいけない上に、それに参加することにメリットを見出せることができるのは、金銭がからむイベントなどと思うから。
バーチャルで選択ゲームにして各ストーリーに沿って進みながら環境について学ぶ企画。
木を切ってその木を使った雑貨作り体験 自分で体験できれば楽しめる上に、自然の尊さや普段の当たり前も様々な人の支えで成り立っていることも学べるから。木を植えたりできるイベントもあってもいいかなと思いました。
食品ロスを減らすために規格外品で作った料理をふるまうイベント 環境問題に対する興味は人それぞれだが、料理をふるまうイベントであれば、どの年代の人でも気軽に行くことができる。また、埼玉県は近郊農業をしているので、規格外品も出ているのではないかなと思った。

提案内容
環境についてのビンゴ大会 ビンゴで数字を出していき、その数字の問題に答えられたらその数字に穴をあける。ビンゴができた人から景品がもらえる。 ・ビンゴで楽しく環境についての知識が学べる。 ・子どもから大人まで楽しく学べる。 ・ビンゴのシートがあればできる。
ラフティングとバーベキュー 夏の自然に触れながらアクティブな事ができるから。 小学生のころ毎年秩父のイベントでそれが楽しかったから。
小さい子供はみんなで遊んだりするのが好きだからその場で何人か集めてミニゲームをしたり、大人は年齢近い人とかで固めたり、あるいはくじ引きで何かスポーツとかミニゲームをやる。 これで大人も子供も楽しめると思う。
月1回ぐらいの頻度で麻雀大会を開くのはどうだろうか。 麻雀の牌などは木でできていることが多く、不必要な木を使って牌を作ったりすれば、環境にもやさしいと思う。また、賞金をつくれれば、多くの人が来てくれると思う。多くの人のコミュニティになってほしい
昔の人の暮らし方を実際に体験させ、現代の生活が成り立っているのは豊かな自然のおかげだということを知らしめる。自然の豊かさを知ってもらい、現代の環境破壊の風刺画を作ってもらう。
若者に影響のある芸能人とコラボしたらいいと思います。「環境」イベントと聞くとかたく感じてしまいがちですが、芸能人とコラボすることで未来を担う私達が行きやすくなると思います。実際に韓国で子宮頸がんの予防接種を受けた人にアイドルグループのフォトカードをプレゼントする取り組みが行われた結果、ワクチンを受ける人が急増しています。
ボランティア企画 ネットで募集して協力者をつくる 企画内容 ゴミが多く捨てられている場所に行ってボランティアの方々と一緒にゴミ拾いをする。拾った量が多い人（総重量でも可）に食品券だったり、を渡してあげる。これを月一くらいに全国で行うことで各地で活動を行うことができる。
どんぐりコマ回し 景品 松ぼっくり ・ゴミで野菜を交換する・ゴミでキャンプファイヤー・虫を捕まえてトレーディングカードゲーム・川で水切り・町とかゴミの歴史の授業・木をうる活動・学校全体でゴミひろいにいく
〔内容〕環境についてのことを主軸にしたネタを用いたお笑いイベント 〔理由〕多くの人が楽しめるお笑いで環境についてのことをすれば、たくさんの人々が環境に興味を持ってくれると思ったから
体験型のブースを用意し、自転車などで発電をすることで何か小型のプレゼントを作り上げられるよう（発電した電力をプレゼントに充てる）にする。また、自動車会社と提携し水素自動車など（もちろん子供も乗れるようなスピードで）を乗車できるようにして、車から放出される排気ガスなどについて興味を持ってもらう。子どもはやっぱり体験できる物だったり、車などにひかれるので、企業と提携し、体験できるようにすることで同時に環境についても学んでもらえるのでは？と思った!!
スポーツの日、イベントとして体を動かしながら、環境のことを学ぶことができるイベントをつくる。家族やグループで参加してスポーツ×環境のゲームを行う。勝っても負けても、環境に関連した景品をもらえる。体を動かしながら、環境を学ぶことができ、人々の運動不足と、環境問題の両方の解決につながるのではないかな。
・海に行ってみんなでゴミ拾いをする。 理由 海に行くのは楽しいし、ゴミ拾いして、海がきれいになったらいいと思ったから。
SDGsクイズ 17個全部言うまで帰らせない
クリスマスにプレゼント企画をする ビンゴやプレゼント交換など
ゴミ集めスタンプラリー 最近埼玉県のみちがゴミで汚れてきているためきれいにしたいと思ったからです。市ごとに埼玉を分けて、地名をスタンプラリーのカードに書いてその場所のゴミを集めたらスタンプを押してもらおう。全ての場所をクリアしたら景品がもらえる。
・中高生に人気のアニメや漫画とコラボする。 ・来てくれた人は減税 ・1回環境破壊をしてその恐ろしさを目に焼き付ける。 ・森の中で寝るだけのイベント ・ゴミを実用的に再利用するコンテスト 地域で行われる環境イベントに訪れる人が少ない理由として、知る機会がなかったり、行くのが面倒くさかったりすることがあげられます。そういった人たちをできるだけ呼び込むためには、イベントをもっと大規模にしたり、若い人々が興味を持って、思わず行きたくなるような活動が必要だと思います。
地震体験機械をつくってこわさをしる。 しんど8までせっている。
ゲームのイベントとコラボする 植林やゴミそうじに参加すると、ゲーム中で使えるアイテムが貰える。ゲームとコラボすれば若い人も参加できるイベントにできる
「CO2は本当に”温室効果”があるのか？」や「マイクロプラスチックに分解されていく過程を顕微鏡で見よう！」などと銘打ち、「身近な環境問題のワードとして聞けけれど、実際どんなものなのか、どう環境によくないのかあまり知らない」ものを、（可能であれば）模型か実物を用いた実験で示し、漠然とした環境問題やその原因を目で見えるようにすると良いと思う。 その他に、イベントにより「環境問題にさほど興味が無い人」を集めるために、縁日の露店のような形で企業に製品販売のブースを出してもらい、「環境への良さ」を標榜する製品を売ってもらうように協力を仰ぐ。出店企業に「どのようなところが環境に良いのか」を説明するコーナーを設けることで、企業のアピールになり、企業側にも利を示せるのではないかな。
ごみを制限時間内にどれだけ拾えるかというイベント 理由…ごみを拾って、環境をきれいにしながら、楽しく、友達ともゲーム感覚で参加できそうだから

提案内容
電子書籍を買える図書カードなどがゲームでもらえて、電子書籍などの体験コーナー、海洋プラスチックでなにかを作ってみるコーナーなどを設置する。また宣伝としてSNSや文化祭などにも希望者をつのり出しても良いと思う。
埼玉出身の大物芸能人・スポーツ選手・動画配信者とかとコラボした環境イベントを開催する。 理由は行きたくなる理由を作るため。
若者に人気のインフルエンサーや動画配信者やアイドルやアニメ作品やゲームのキャラのコラボイベントとして行う 理由…調べれば実績がでてくる
〔内容〕自転車で発電している時だけカラオケで歌をうたうことができ、その点数に応じて景品がもらえる 〔理由〕全世代の人が楽しめるし、自分で発電することで少しのエネルギーを作るのにどれほどの力が必要なのかを教え、また、歌が苦手な人でも漕ぎながら歌うので歌唱力よりも持久力の方が必要であるから苦手上手関係なく嫌な思いをすることもなくゲームに参加できるし、無料でカラオケができてしまうイベントがとてもいいと思いました。
川などの濁った水をストロー型浄水器によって、飲んでみることににより、浄水器が必要な地域への支援金を募集する。 こうすることで、浄水器が必要な地域があることを発信でき、その課題を解決する一つの方法として体験してもらうことにより、必要性を感じてもらえ、イベント参加者の支援できる方法も明確にできるから。
イベントに出店をいくつか呼んで、その原材料、生産された場所、廃棄されたら地球にどのような影響を及ぼすかを一つ一つ写真に解説を付けて提示しておけば、その場所だけであってもごみのポイ捨てや食品ロスを減らせるのではないかと考えたから。
コスプレイベントと連携して、コスプレをしながらごみ拾いを行う。理由は、コスプレイベントに行っている人のほとんどは10代から30代の若年層で、その人たちに環境に興味を持ってもらい持続可能な社会を考えるきっかけにしよう。 また私はこのようなイベントに参加したことがあり、とても楽しい思い出になったとともに良い勉強になったので、さいたま市でも行ってほしいと思ったから。
・Eスポーツや最新技術を用いて（VRなど）環境が今どういう影響を及ぼしているのか、どうすればいいかを体験してもらう。 ・大きい迷路を用意して、中でカードを進めてもらい、最後に環境改善を学んでもらう。
環境に関する仕事を体験できるイベント。 環境に関する店にスタンプラリーを設置する。
「観光地となって、多くの人が訪れるところ以外の海を訪れてみよう。」海にはごみがたくさんあって、それを実感することが大切だと思ったから。
自治体が主体となって、定期的に地域清掃イベントを行う。家のまわりをそうじしたり、公園に市民が集まって、共同でそうじを行う。 実際に清掃してみることで、大変さを知って環境意識を持たせる。それと同時に美化もできる。
環境に関するクイズ形式にして、多く正解した人に、環境に関する景品をプレゼントする。 理由：クイズ形式は、大人だけでなく、老若男女全ての世代の人を楽しませ、且つ環境について学べるいい機会にもなり、環境について今後考えられるきっかけにもなるから。
地産地消 お料理教室（主に親子向け） まず地元の農家さんの畑で、旬の野菜や果物の収穫を体験させてもらう。（普段あまり体験しないと思うし、地元の農家さんともお話できて、地域の輪が広がる）そして、収穫した野菜や果物を使ってクッキング。火ではなく、IHがいい。（地産地消につながり環境に優しい。IHを使うことで空気をきれいに保つ。）完成したら、みんなで楽しく食べる。 帰るときに、記念に環境に優しいグッズなどを渡して喜んでもらう。また、今回の体験の感想などを書いてもらって、それをさいたま市のホームページに掲載することで、それを見た人により環境イベントに興味を持ってもらえるようにしたい。
アイデア：環境イベントとしてではなく「肉フェス」などといった、食事系のイベントとして人を釣って、その中で自然と環境に関することに触れるようにする。 具体的な案：その会場内の椅子や床などに発電機を仕込んでおいて、自然とそこを通ったり、椅子に座っていたりする内にたまっていたりする。電気を大きい電球で表示するなど。 理由：「環境」という言葉がイベントに入っているとなかなか行く気が起きないというのが正直な感想なので、いかに人々に環境イベントと悟らせずに、環境のことに触れてもらうかが大事だと思ったため。
ごみ拾いイベント 詳細：市が決まった大きさのごみ袋を事前に参加者に配り、ごみ袋1個でポイントなどと交換できる。 理由：ポイ活のような感覚でイベントに参加することができ、ごみも少なくなるため。
警察や消防隊など、あこがれている人たちが多い職業の人たちと一緒に環境について学べるきっかけを作れば、その職に憧れる人々が同時に環境と職を学べるので良いと思う。
駅構内、または駅周辺で行う、環境問題についてのクイズを出すブースを設置する。 理由：まず、駅で行う理由としては、外出の合間にふらっと訪れることができ、気軽に参加できるから。公民館でやってもわざわざ行こうとは思わない。また、スタンプラリーなどの長い時間拘束されるものではストレスがたまるだけなので、5～10問のクイズを出して気軽に楽しめるものがないと思う。参加すると商品券やクーポンがもらえるようにすれば、より参加率が上がると思う。
環境に配慮した祭り 環境にやさしい出店・出し物を出す。 ・ごみ拾いとランニング→（ブラギングチャレンジ） ・廃材で作ったボールやバットで野球やサッカー ・地元のフードトラックで環境に配慮したメニュー（容器のリサイクル・フードロス削減レシピ・昆虫食） 日本人は祭りに行く事に対して抵抗感がないので寄ってくれる人が多くなると思う。できるだけ無料にして景品を多くすると小さな子どもも沢山来ると考える。

提案内容
ごみ収集大会 4～5人のグループをつくり、さいたま市内の一部の区域を使ってごみ拾い大会をする。制限時間を設け（例：朝10：00～12：00までの間）集めたごみの重量が多かった上位8グループに環境に配慮したプレゼントを、参加者全員に感謝状をおくる。 理由：小さな子どもから高齢者まで誰でも参加できる。グループで協力しながらさいたま市をきれいにできる。
環境問題についての資料や歴史を展示する。会場を作り、写真や資料などを展示し、無料でさいたま市の環境問題について知ってもらう。 理由：気軽に足を運んでさいたま市の現状や将来について、考えを深めてもらえるきっかけになると思ったから。環境に気を遣う人が増えてくれると考えたから。
〔内容〕 環境に優しいカフェをつくる。地産地消の野菜、プラスチックではなく紙のストローなどを使う。電気は太陽光エネルギーでまかなう。 〔理由〕 年齢関係なく楽しめる。映える外観、食べ物にすれば若者も来る。SNSに投稿して、より多くの人が来る。
ごみ拾い 理由：道にごみが落ちていない方がポイ捨てなどがしにくくなるから。ごみの分別などを知ってもらえるから。
〔内容〕 CO2吸収量ごとに並べた植物を展示し、緑の大切さが目で見て分かるようにする。また、ごみ一つ当たりを処分するに当たって排出されるCO2の量を並べて展示し、物を大切にすることがどれだけエコにつながるか視覚的に実感できるようにする。 〔理由〕 現代の生活では、自分たちがどれだけCO2の排出にかかわっているのかを考えにくい。そこで、視覚的に分かりやすく身の回りのCO2の動向を知ることができれば、小さな子どもでも環境について、考えることができるのではないかと考えた。
〈陸・海の生物のモヤモヤ・うれしすぎるよ展〉 陸や海の生物の視点から、モヤモヤすること、うれしいことを展示する。 〈理由〉 最近流行っている企画展とコラボして、展示会に来てもらった人にも陸や海の生物の気持ちになってもらって、環境について考えるきっかけになるから。
「環境破壊が進んでしまったら展」を開催する。 見やすいイラストとともに環境破壊が進んでしまった場合、地球に起きることを書いて展示する。展示の合間にSNS映えするスポットや、今行っている取組、VRなどでの体験を置くようにする。 近年、流行っている面白い展示会は人が集まり、多くの人に環境について知ってもらえるから。また、環境問題について危機感を持ってもらえると思うから。
（内容） 環境に関するいくつかの課題を与え、それらを全部クリアすることができたらTシャツとかお菓子といった景品がもらえる。タイムアタック形式やよりよい解答をしたら何かプラスでももらえるといった要素もあればさらによいと思う。 （理由） 目的に対する対価があった方が活動へのやる気が上がると思う。また、そこでしか得られない良い物を得ることができるとなれば、より活動は活発になると考えたから。
さいたま市環境マルシェを展開！ 環境関連（環境保全、市政）等に携わる大人に各自の仕事を紹介するブースを設置してもらい、学生がそこを自由に回ることができるようにする。環境への理解・関心を自身の興味に基づいて深められるほか、仕事内容に触れることで、将来自分がどのようにして環境に向き合い、未来の私たちを取り囲む環境のために動いているかについてヒントをもらうことができる。環境を守り続けていく人材の育成のためにも有効であると思う。
規格外野菜や、中古品のおもちゃ、お古の洋服などでクリスマスマーケットを開催する。（おしゃれな雰囲気にする） →廃棄物を減らせる。まだ使えるものが捨てられているという現状に気付く機会になる。
環境破壊が進んだ未来と環境が守られた未来の対比イベントにする。2つのブースに分け環境破壊が進んだ未来から体験してもらい、その未来を防ぐために環境に関するクイズに答えると環境が守られた未来のブースに行けるようにする。環境を守ることを促すのではなく、そうしなかった場合の未来も提示することで危機感を持ち、興味をもてると思う。
〔内容〕 いくつかのブースを作り、そこで貯めた分のポイント（またはエネルギーなど）で最終ステージに取り組むゲーム。貯めたポイントの量に応じてクリアのしやすさが変わる。クリアするとエコバッグをもらえる。 〔理由〕 体験型、特にゲーム形式のイベントは気軽に行きやすく、人も多く集まる印象があるから。また、若者や子どもはゲームが好きな人が多いと思うから、プレゼントを用意することで集客力が上がると思ったため。更に、エコバッグは日常的に買い物などで使用するので、使う度に目に入り、環境への意識が変わると思うから。
さいたまカルタ～環境編～ 内容：環境に関するカルタ（例：“た” 太陽光で自己発電 と読んで、それに該当する絵を選ぶ）を作成する。より多くの枚数を手に入れることができた人に環境に良い景品（木のキーホルダー等）をプレゼント！（3～6人で挑戦） 理由：老若男女問わず楽しむことができ、親子でも一緒に遊ぶことができる。またカルタならルールも簡単なので誰でも気楽に行けると思ったから。また景品も細々としている木材を使ってキーホルダーにしたら木材の無駄にならないですむから。
プラスチックからシャープンを作るワークショップ（もしくは販売） 理由：幼い子どもであればスタンブラリーやクイズで興味を持ってくれるが、中高生（小学生高学年もあるいは）は、そういったものにはあまり興味を持ってなかったり、むしろ恥ずかしくて行きたくないのが実情だと思うが、文具であれば中高生は皆使うもので、欲しいと思う人もいたと思うから。アイデアは、以前文具店で、海のプラスチックから作られたシャープン、消しゴムを見かけたので、それから。海に流れ出たプラスチックを食べて死ぬ魚や、海の生き物がいることを伝え、ごみの分別や、紙ストローを使う呼び掛けができれば良いと思う。
①空になったペットボトルの意外な使いみちやティッシュの効率的な使い方、水の効率的な使い方などを教えるブースなどを作ってクイズをする。 →知っておくと得する上に、環境にもやさしい。 ②ごみ箱の需要について語る。→街の中にごみ箱が少なすぎる。ペットボトルのごみ箱だけでなく、燃えるごみのごみ箱とかもっと置くべきということを知ってもらえる。
いくつかの体験ブースと環境が及ぼす影響やその結果の日本の様子などをイラストや小さな仕掛けなどで分かりやすく説明・展示。 気軽に体験できてイラストだと一目で分かりやすい。ちょっとした遊び心もあれば、小さい子も楽しみながら学べる。
サッカーボールを蹴り、用意しておいた巨大な的に当て、当たった数字を見る。そして、その文字数で環境に関する言葉を作り、30秒以内に答えられれば景品をもらえる。 ゲーム感覚で参加できれば、より多くの人に知ってもらえるから。

提案内容
環境にまつわる様々な体験ができるブースをつくって、体験が終わったらスタンプを1つもらえる。たくさんスタンプを集めたら環境にやさしいプレゼントをあげる。 （理由）プレゼントをあげれば子どもは寄ってくる。スタンプを集めることも子どもにとっては楽しいから。
〔内容〕植物の展覧会。それぞれの植物の環境にやさしいポイントが書かれている。参加した人には、育てやすい植物や小さい植物などがプレゼントされる。 〔理由〕植物に囲まれることで環境を意識でき、また家など身近なところで植物を育てることで環境を大切にしようという気持ちが生まれると思ったから。
エコマーケットを開催する。→有機栽培で育てた農作物やその加工食品、環境にやさしい商品などの販売。環境団体に出品してもらい体験ブースを設ける。 理由：地産地消が推進される。食べて、見て、楽しめるついでに学ぶことができる。
内容：あなたの推しSDGsを決めよう！ SDGsの項目ごとに分かれたブースを設置。ブースではそれぞれの説明を聞いたり、体験したりでき、回ったブースでスタンプを押してもらえ。帰る際に自分の好きな項目のシールをもらうことができる。（スタンプが押してあるものから選べることにするのが良いかも）（スタンプを全部集めていたらもらえるシールがあっても良いかも） 理由：若者にも来てほしい！となると参加しやすさが欲しいので、あえて「推し」と表記することで興味を引き付けられるんじゃないか。最後にもらえるシールもあのSDGsのデザインそのままにするのが大切。パスれる。あと1枚だけもらえるということにすれば何回も来てくれるかもしれない。裏面にさいたま市の取組を書いたら市への興味もわくかもしれない。
打ち水奨励イベント 〔内容〕再利用水でヒートアイランド現象を抑制しようという目標の下、人々を集めて打ち水の有用性を説明し、呼び掛けるイベント 〔理由〕・再利用水であれば長時間水が蒸発せず、効果的に地面の熱を奪えるため。・人々に呼び掛け、継続して行ってもらうことで、涼しく暮らしやすいまちになるため。・冷房の使用量が減り、結果的にCO2削減につながるため。
〔内容〕水や電気の使い方を意識しよう！ ① 値段を設定する。② 水の出ない蛇口型のスイッチを決めた値段になるよう予想しながらひねり、値段に近づいたと思ったら止める。③ 同様に、電気のスイッチを決めた値段になるように予想し、値段が近づいたと思ったら消す。④ ②③の時間をもとに水道代と電気代を求めて①で決めた値段との差が小さいと景品がもらえる。 〔理由〕水道代や電気代を考えずに水や電気を使っている子どもが多いが、上記のイベントを開催することで無駄遣いや、意外とお金が掛かっていることに気付けるかもしれないから。
若者たちにも来てもらえるように映え目的とか。
意外と遊具が好きな人も多いかも！！ そこに写真映えスポットとかあったら完璧！
リサイクルやリメイクで金になる方法を教えてくれるイベント。 食品ロス削減みたいな政策を教え、その方法の食べ物などを提供するイベント。
発電体験 初めに、日本で行われている発電の方法について知り、次に発電所の模型を作製し、どの発電方法が環境にいいかについて理解させます。そうすることで環境に配慮した生活を心掛けるようになり、とてもいいと思いました。
提案 みんなでゴミを拾い、拾ったごみの重さに応じて景品をプレゼント！ビニール袋と軍手を配布することで、市民が参加しやすくする。どこかの公園に集合しそこから行ける範囲内でごみ拾いをする。 理由 さいたま市内のごみを減らすことできれいな街にし、参加者の環境に対する意識を高めるため。
ごみひろい
イベント名：エコボトルを作ろう！ 家で出たプラスチックごみを会場にもっていき、回収してリサイクルする。家で出たプラスチックごみを持って行くとエコボトルにデコレーションできるというイベント。プラスチックごみは環境に悪いので、環境への意識を高めるため。
提案 木や葉っぱ、花などの身の回りにある「自然」をたくさん使って日常生活に役に立つ物をつくる。すべての参加者につくったものと記念品をプレゼント。イベントの終盤には作ったものを見せ合うコンテストを行い、優勝者に豪華景品をプレゼント！ 理由 一見ごみに見えるものでも見方を変えてエコについて考えてもらう。またいらなくなった木などもおもちゃにする事が出来る事を知ってほしいため！
大体一つのプールの水の量に含まれているごみと同じ量のおもちゃをプールに入れて、それを拾い、一番とった重さが多い人にプレゼントをあげる
題名 親子で果物発電！ 親子でいろんな果物を発電してみて、成功したらおやつとの詰め合わせをプレゼント。果物は全部で6種類。 理由 形がいびつて出荷できない果物を使うことでフードロスを防ぎSDGsの貢献することができ、世界をよりよくできるから。
水力発電，風力発電，太陽光発電などの発電の発電方法の条件を変えて実際に発電する。発電量の違いなどをクイズで出題する。参加者も一緒に実験できる。
「案の名前」 Let's release Snails together!! 「内容」 ひと家庭に10匹以上の国産タニシを飼い、川へ大量放出（ジャンボタニシなどの、有害な外来種タニシは不可） 「理由」 川の水質向上と生き物の繁殖を促す
内容 さいたま市の野菜やフードロスについてクイズを通して知ってもらい、自分たちの食事からでるゴミの量を減らす。 理由 SDGsに貢献するため。

提案内容
太陽クッキング 太陽クッキングとは太陽の光を集めその熱で調理すること。ガスや電気を使わずにケーキを焼いたりご飯を炊いたりなどの調理が可能です。このイベントでは太陽光で焼き芋を作ります。 エコ調理手段としてはもちろんアウトドアや災害時の調理方法として注目されているから。また、東京都環境局によればこうした太陽光利用システムを導入することによって年間一世帯当たり2.5万円から2.9万円の光熱費削減効果が期待できるから。
お花に水やりキャンペーン。 さいたま市各地の公園の花に水やりするキャンペーン。幼稚園生から小学3年生まで参加できて、参加者にはお菓子がもらえます。お花に水やれてお菓子ももらえてみんなハッピー！
提案 家にある壊れたものや処理が難しいものなどのゴミを正しいイベント用のゴミ箱に入れると、そのイベント用のポイントがもらえる。ペットボトルなどの分解できるものは分解しないとポイントが手に入らない。集まったポイントでエコな物と交換できる。集まったゴミはイベントの最後に一か所に集め、一定の量を超えたらイベントの参加者にさいたま市のグッズをプレゼントする。 理由 ゴミが分別されていないことがあるので、正しいゴミの分別を実践しながら覚えることができるから。
エコな電力で動くRCカーを作ろう！ ＝内容＝ 有名ラジコンスクール協力 環境問題に気軽に触れられるワークショップを実施。キットから本格的な自動車の構造を知り、近年の世界的自動車情勢や環境について楽しく学べます。ソーラー充電した電力などでRCカーを走らせましょう。完成したRCカーは持ち帰ることができます。
提案 自販機の周辺を掃除し、見つけたお金は最初に見つけた人がもらえる。 理由 自販機の周りはペットボトルや缶が多く落ちているから。
提案 ビニール袋の値段を高くする。またエコバックを持ってきた人にスタンプをつけてポイントを貯めたらプレゼントをあげる 理由 プラスチックを捨てることで私たちの生活に支障が出るから。
イベント名：焼き芋大作戦!! 内容：落ち葉を掃除して、集めた落ち葉で焼き芋をする。残った灰や燃えカスを肥料として木や花、農作物植える。 効果：焼き芋を落ち葉で焼く体験は貴重。植物を植えることで環境が良くなる、花などを植えたり、落ち葉を掃除したりすることで景観が良くなり魅力が増す、農業の簡単な体験ができる。
Let's cooking! 【内容】さいたまの規格外の野菜を安く売る。また、その野菜を使って料理教室をすることで食品ロスを防げる。 【理由】野菜を安く手に入れられる。興味を持ってもらえる。
おいしさいたま スーパーやレストランなどで余った食材やさいたま市内の農家で育てられた、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食材を活用してスイーツや料理などを提供するフードフェスを開催する。 理由 若者に環境問題について興味をもってもらうため。食品ロスや食べられるのに捨てられてしまう野菜などが増えているため。
公園の花壇等に花を植え、人を集めその公園で環境や自然について話し合う機会を用意し植林の大切さについて知ってもらいイベントを設け、そうすることで花を植え、自然を増やし、街の雰囲気をよくし、多くの人が身近で参加しやすく、積極的に環境について考えられると考えます。
saitama's collection 【内容】スタンプラリーを行う途中でごみを拾って、ゴールを目指す。ゴールについたら、花壇に自分が名前を付けた花を植えられる。その花の種類は、集めたごみの量によって変わる。スタンプを全部ためるとリサイクル製品がもらえる。 【理由】花を植えることで自然を増やし、街の雰囲気をよくするため。多くの人が身近で参加しやすく、積極的に環境について考えられると思うから。
利己エコマーケット。みんなで地球をはしりまわって地熱発電を起こす。
さいたま市民の日に、さいたま市全体でフリーマーケットをしたいです。さいたま市全体でフリーマーケットをやれば、お金が行き交いし、さいたま市全体が金銭面で豊かになれると思ったからです。
アイデア：Eco-Struck-Out 内容：ペットボトルなどのごみをストラックアウトのようにしてごみ箱に捨てる 理由：私たちの理念として一時的にごみの量を減らすのではなく、長期的に見てごみを減らせるようにするためには一人ひとりがごみを適切に処理することが必要だと考えています。そのため、ごみを捨てることに楽しさを感じてもらうことができればごみ捨てを習慣化してもらうことにつながると考え、この企画を考えました。また、そのほかにもストラックアウトというスポーツと絡めた企画であるため、現在の子どもたちのコロナ禍で外に出られなくなったり、ゲームをしったりして運動離れが進んでいるという問題の解決にもつながると考えます。私たちの企画を通して、今後の世代でごみを捨てることの習慣化、そして体を活発に動かすことの楽しさを知っていただけることを願っております。
てんさいたま さいたま市で環境に関するクイズ、具体的には今の主流の発電方法は何か、深刻な環境問題は何か、などの様々な問題を作成して子どもたちにクイズを出すことでたのしい形で環境について学んでもらおうというイベント
シティクリーン大作戦 街に落ちているゴミを100g集めると、地域の店の割引券がもらえる。 ゴミを拾うことで、街をきれいすることができ、地域を活性化することができるから。
草むしりをして500g以上拾った人は牛丼チェーン店の一杯無料券もらえる
【やること】家にある使わない布類や紙を各自持ってきてリサイクルする。紙などは再生紙にして和紙にしたり、紙袋を作ったりする。布類はエコバックにしたり、ハンカチにしたりする 【理由】一人で普段しないことをほかの参加者と新しく交流をしたりすることができるから。普段捨てるような紙を家ではできないようになりサイクルができるから。

提案内容
アクアリウム内の魚たちの視点をVRなどで見る 理由 魚の視点を体験して海に捨てられているごみが魚たちにとってどんな害が出るのかを体験することで海にごみを捨ててはいけないということを知ることができるから。
環境ライブ 有名人を招待して、環境に関するライブを開く 有名人を呼ぶことによって、たくさんの人が集まるし、楽しくたくさんの人に環境問題を知ってもらおうきっかけになるから。
屋台で食べ物などを売ってその包装をリサイクル素材にして会場内で回収する 理由 お祭りなら来る人も多いだろうし、リサイクルをすることで多くの人がリサイクルに関心をもつきっかけになると思ったから
ゴミ箱ポイイベント ゴミを拾った人はそれを見た人と拾った人の同意があれば県から500円の支給がある(月に一回) 理由 市民全体がお小遣いを集めるためにゴミを拾うことで街からゴミもなくなるし、市民も喜ぶから
不要品を持ち合わせて、ほかの参加者と交渉して交換する不用品交換会を提案します。不要品と自分がほしいものとの交換で金銭のやり取りがなく、互いの合意の上での取引になるため、トラブルになりにくく地域の人との交流にもつながると思います。
私たちの企画は、エコバッグを自分なりにアレンジして環境に優しい買い物ができるかどうか（小学生向け）環境問題についてのクイズ（中学生）、というものです。 「Let's go shopping! 環境問題って何だろう?」対象：小学生 参加費：あってもなくてもいいが、つけるのなら500円以下。 概要：無地または色素が薄めの布で作られたエコバッグを用意する。（100円ショップなどで購入可能）油性ペンなどで色を塗ったり、ビーズやワッペンなどでエコバッグをデコってもらう。世界に一つのバッグが完成。隣のブースで買い物体験してもらう。商品は本物ではない。買い物メモを渡して買い物をしてきてもらう。（カレーや肉じゃがの材料など）親子でしてもいい。その際に注意点を話す。（・プラスチック製品をあまり買わない。・地産地消を心掛ける。など）それらを考慮しながら、買い物できた子にお菓子の小袋を景品として渡す。仕切りはない方がいい。同年代の新しい友達が出来るといいから。他にももしスペースがあったりすれば生活の中でできる環境問題についてのクイズに答えてもらう。（・ごみの分別、リサイクル・再生可能エネルギーについて）簡単な二択問題やO×クイズ、間違い探しなどの展示。体験後アンケートに答えてもらう。参加した子供やその親にも。今後のイベントにつながる。（体験理由、考えたこと、感想、満足感など）選択にしてもいい。 「超難問 環境クイズ」対象：中学生 参加費：つけない方がいい。 概要：環境問題クイズ。（・家庭科で扱われる識別表示マークについての問
ゴミ拾いをして特定の重さのごみを持っていくごとに商品券や割引券をわたす
さいたま市長とゴミ拾いバトル 参加費：300円 ・30分間で大宮公園のごみを拾い続ける ・拾ったごみの総量で勝敗をつける ・市長に勝った人は地元の野菜をプレゼント
・環境への貢献度によって、ポイントが付与する。例えば、移動手段を徒歩にして歩いた分だけポイント付与、リサイクルした重さや種類によって、ポイント付与を行う。ポイントは食事券や、商品券に変えることができる。 ・上記の内容のリサイクルイベントを開催する。
町に落ちているごみをみんなで拾ってきれいに洗った後にそれを使って工作しよう！
「グリーンで地球を守ろう～君だけの木を植えよう～」 【内容】植林体験 さいたま市で公園や木が植えられるところに苗木を植える体験をします。植林のプロに教えてもらいながら、環境について学びます。一つ植えるごとに、市内から廃棄される木くずを使って作った木製のコースターをプレゼントします！ 【理由】植林を通して自然に興味を持ってもらいたいからです。普段体験できない植林をみんなが体験することで、自分たちの地球の現状を知り、自然を守ろうという意識が高まるからです。 子供が植えたら自分の成長と同時に育つ木を見ることができ、木と共に喜びを分かち合え、大人が植えたら木を眺めているときがとても素敵な癒しの時間になることでしょう！ ぜひあなたも植林をしてみませんか。
【環境クイズ大会】 内容：環境について知るためのクイズ大会！！友達4～5人で参加し、環境をよくするための行動についてクイズに挑戦しよう！！ ・食べられるカップのパフェを参加したらもらえる。・無料で飲み物を配布→紙でできた入れ物を使う。・クイズ大会形式で優勝した人には高価な景品がもらえる。 理由：ゲーム感覚で環境について学ぶことができる。また、景品があったほうが参加する人が増えると思うから。 参加したら食べられるカップでできたパフェや紙でできた、コップに入れた飲み物を配ることで、環境を守るための取り組みを感じることができると思うから。
ポイントカード制にして、ペットボトル 3ポイント、缶・お菓子のごみ2ポイント、その他1ポイント で50ポイント集めたらさいたま市で使える300円商品券がもらえる。
草取り、ゴミ拾いイベント（賞金あり） 内容…草やゴミを一番多く取った人が金ゲット。 理由…金をもらえることで参加意識が高まって多くの人が参加し、より環境がキレイになるから。
「自然でクリスマスツリーをつくろう」 自分たちで1から育てた樅の木にクリスマス飾りを飾る。冬に植える→クリスマス飾りをつくるor買う。次の年のクリスマスに飾る→飾りおわったら、肥料にする。 ・自然に触れられる。・世界に1つのクリスマスツリーが作れる。・二酸化炭素を減らせる。
【内容】さいたま市環境電子スタンプラリー 事前に登録しておいたスタンプラリーの画面を用意し、環境についてのクイズなどを正解するとスタンプが押される。さいたま市内を歩いてクイズに答えていき、参加者全員に、マイボトルのプレゼント 【理由】さいたま市内を歩きながらクイズに答えることで環境についての知識が身につくと思ったから。マイボトル、またはエコバッグを配布することでペットボトル・レジ袋のごみ軽減につながったと思ったから。
私が行ってみたいと思う環境イベントは、若者に人気な有名人とコラボしていたり、バザーなどがあるイベントに行きたいなと思います。有名人を呼んで、舞台上歌をうたったり、おどったりファンサービスなどをやったり、バザーではオリジナルのキーホルダーやバッチ(缶バッチ)やマグネットを使って10代(小・中学生)をねらって出したら良いと思います。

提案内容
テーマ 地域のごみひろい 地域の人々で近くのごみをひろう、その理由は、ゴミの分別や捨てることに対しての意識が全然ないから。自分の行動を振り返る機会がないから。ごみひろいをしたら、好きなものをもらえる。
・宣伝方法にSNSを用いる。（理由）若者はあまりポスターなどは見ないと思うので若者の視聴率の高いSNSを使い、見てもらう。 ・参加者特典を作る（理由）何か得るものがないから行く必要を感じられない（生活に必要なものは×、ティッシュも×） ・SNSのインフルエンサーに協力を仰ぐ（理由）影響力があるから。 ・さいたま新都心などの人の多い場所で開催する（理由）人が多い方があつまりやすい ・クイズではなくもっと遊び心あることをする（理由）単純に若者からしたらクイズなどはおもしろくないから。
・ダンボールやプラスチックで作ったアスレチックや迷路。 理由：環境にはいりよして、ゴミを減らしたい。アスレチックなら子どもも楽しめるし、学ぶきっかけになるから。 ・ペットボトルなどのごみを使ったりリサイクル作品づくり 理由：リサイクルについて考えるきっかけになるから。家族のごみを使えばごみの削減にもなるから
テーマ 大人から子供まで楽しめるサービスを作ろう!!!!!! クイズを作り、正解していくとポイントがたまる。ポイントで景品ゲット!! 理由は子供も楽しめるし、大人も一緒に学ぶことができるから
来場者にティッシュなどの景品を渡したりスタンプラリーなどを開催したりする 理由→イベントなどを通して楽しみながら環境について興味を持ってもらって環境について深く考えてもらう機会を作ることができるから
ごみをたくさんひろったらお金をもらえるイベント （理由）若者はお金にどんよくなので参加する人数も増えると思ったから。
【内容】環境クイズ大会 ○×クイズで正解し続けた人に豪華景品プレゼント!! 芸能人招待!! 【理由】景品を得るために参加する人も環境について学べるから。環境イベントへの偏見が多いから、他の需要がありそうな要素を作って多くの人に来てもらうため。
テーマ ドキドキ！このゴミは何でshow～！ イベント内容 ごみの分別クイズ！ たくさんのゴミを用意して、そのゴミが何ゴミか、リサイクルしたら何に変わるのかをみんなで考える。 その理由 難易度別に分けて取り組めるから小さい子でも大人でも楽しめる。答えがあっていたらスタンプがもらえて、スタンプが全部貯まったら、報酬がもらえる。このイベントを実施したことでゴミの分別に困らなくなる。
テーマ 環境ビンゴ 景品付きビンゴ大会 理由：子どもに興味を持ってもらうため。 内容：環境に大切なことを知るためのビンゴ大会。
テーマ 地産地消で食品ロスを減らそう さいたま市の食材を使った色々な料理を提供する(なん品まで無料)フェスティバルをひらく。地産地消について知ってもらい、地元の食材のおいしさを知ってもらえる。食材の売り上げ向上につなげる。なん品か無料にして足を運んでもらえるようにする。今流行している食べ物をさいたま市の食材でアレンジ。
テーマ エコアート ペットボトルキャップや紙くすなどのゴミを集め、イベントでアートをつくり、完成した作品を駅などに展示して、多くの人に見てもらう機会をつくる。例えばさいたま市の区ごとに作品をつくり、審査をし、優秀な作品は美術館に展示したり、参加した人にリサイクルしてつくられた実用的なもの(エコバッグ、ノートなど)を参加賞としてあげる。そうすることで、区の親交が深まり、他の区への関心も深めることができ、楽しみながら自分も環境に対して行動を起こす第一歩になるから。
テーマ 楽しく環境について学ぼう クイズありのスタンプラリーをすればいいと思う。 環境に対して意識が低い10代から20代に向けて、クイズを交えながら、スタンプラリーを行うことで、知識を身につけながら、すべてのスタンプを獲得した時の達成感が味わえると思うから。スタンプラリーは難易度を変えて、2・3種類つくことでいろんな人が楽しめると思う。
環境マスターになろう！ゲームをする 実生活で起こりそうな事柄をクイズとして出題し、（例：あなたはコンビニでプリンを買い、家で食べることにしました。するとお店の人に、「スプーンはお付けしますか？」と聞かれました。どうしますか？）より環境によいと思う方を選択してもらう。正解したら二酸化炭素メーターが下がり、不正解したら上がる。二酸化炭素メーターが最大までたまったらその時点でゲームオーバー。たまる前にすべての問題が終了したらクリア。クリアすると、普段は捨ててしまうような野菜の皮などを美味しく調理したものが食べられる。 提案する理由は、実際に起こりそうな事柄をクイズにすることによって、実践しやすくなると思うからです。また、野菜の皮など、普段は捨ててしまうものにも、関心をもってもらえると思います。